# ３　若者・子育て世代アンケート調査

## ３－１　回答者の属性

問１　あなたのことについて、お尋ねします。

年代、性別、居住年数、居住地区（学区）、住まい、家族構成、親の住まい、婚姻と子どもの有無の回答結果は以下のとおりです。

回答者の年代は「30～34 歳」・「35～39 歳」、性別は「女性」が多く、居住年数は「10 年以上」が多くなっています。回答者の住まいは「持ち家（一戸建て）」が 77.3%を占めています。

家族構成は「親とあなた・兄弟姉妹」の 39.6%と、「あなた夫婦と子ども（父と子、母と子も含む）」の 38.9%が多くなっています。また、親の住まいは「町内」が 40.7%となっています。

婚姻と子どもの有無では「未婚・子ども無」の 45.5%、「既婚等・子ども有」の 42.1%が多くなっています。

図表 3-1-1　年代

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| １８～１９歳 | 36 | 8.8% |
| ２０～２４歳 | 73 | 17.8% |
| ２５～２９歳 | 78 | 19.1% |
| ３０～３４歳 | 112 | 27.4% |
| ３５～３９歳 | 106 | 25.9% |
| 無回答 | 4 | 1.0% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-2　性別

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 男性 | 166 | 40.6% |
| 女性 | 241 | 58.9% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-3　居住年数（通算）

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| ２年未満 | 44 | 10.8% |
| ２年以上<br>５年未満 | 58 | 14.2% |
| ５年以上<br>１０年未満 | 57 | 13.9% |
| １０年以上 | 248 | 60.6% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-4　居住地区（学区）

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 緑丘小学校区 | 107 | 26.2% |
| 武豊小学校区 | 136 | 33.3% |
| 衣浦小学校区 | 82 | 20.0% |
| 富貴小学校区 | 82 | 20.0% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-5　住まい

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 持ち家（一戸建て） | 136 | 77.3% |
| 持ち家（マンション） | 6 | 1.5% |
| 賃貸住宅 | 71 | 17.4% |
| 社宅（借り上げを含む）・独身寮 | 12 | 2.9% |
| その他 | 3 | 0.7% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-6　家族構成

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 一人暮らし | 16 | 3.9% |
| 夫婦のみ | 39 | 9.5% |
| 親とあなた・兄弟姉妹 | 162 | 39.6% |
| 親とあなた夫婦 | 5 | 1.2% |
| 親とあなた夫婦と子ども（親と父と子、親と母と子も含む） | 12 | 2.9% |
| あなた夫婦と子ども（父と子、母と子も含む） | 159 | 38.9% |
| その他 | 15 | 3.7% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 計 | 409 | 100.0% |

図表 3-1-7　親の住まい

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 近く（歩いて行ける距離） | 44 | 20.6% |
| 武豊町内（「近く」を除く） | 43 | 20.1% |
| 半田市 | 23 | 10.7% |
| 常滑市 | 5 | 2.3% |
| 美浜町 | 16 | 7.5% |
| 南知多町 | 15 | 7.0% |
| その他 | 60 | 28.0% |
| 親はいない | 3 | 1.4% |
| 無回答 | 5 | 2.3% |
| 計 | 214 | 100.0% |

※家族構成で「一人暮らし」「夫婦のみ」「あなた夫婦と子ども（父と子、母と子も含む）」と回答した 214 人が対象となっています。

図表 3-1-8　婚姻と子どもの有無

| 区分 | 回答数(人) | 割合(%) |
|---|---|---|
| 未婚・子ども無 | 186 | 45.5% |
| 既婚等・子ども無 | 47 | 11.5% |
| 既婚等・子ども有 | 172 | 42.1% |
| 無回答 | 4 | 1.0% |
| 計 | 409 | 100.0% |

※婚姻については、問 20 の結果に基づいて集計しています。「未婚」は「結婚していない」又は「婚約中」と回答した人の合計、「既婚等」は「結婚している」又は「結婚していたが、離別・死別した」と回答した人の合計となっています。

※子どもの有無については、問９の結果に基づいています。「子ども有」は「すでに子どもがいる」と回答した人となっています。

## ３－２ 回答者の就業状況

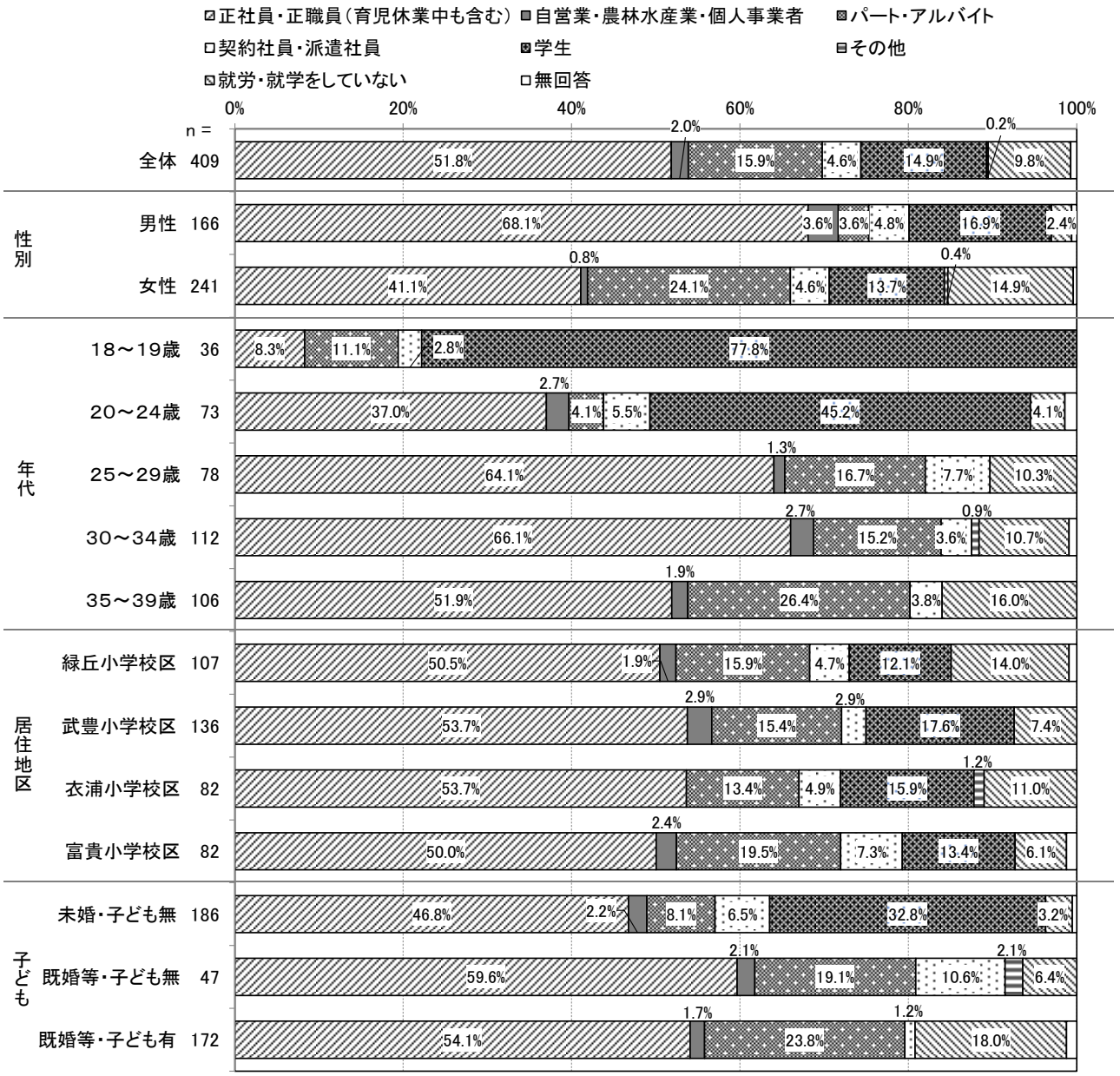
### （１）職 業

問１　あなたのことについて、お尋ねします。
（８）職業の有無（１つに○印）

職業については、「正社員・正職員（育児休業中も含む）」が 51.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 15.9%、「学生」が 14.9%と続いており、「就労・就学をしていない」が 9.8%となっています。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「正社員・正職員」は男性が 68.1%、女性は 41.1%で、男性が 27.0 ポイント高くなっています。<br>○女性では「パート・アルバイト」が 24.1%で、男性よりも 20.5%ポイント高くなっています。また、女性では「就労・就学をしていない」が 14.9%となっています。 |
| 年代 | ○18～19 歳では「学生」が 77.8%と大半を占めています。また、20～24 歳でも「学生」が 45.2%で半数近くを占めています。<br>○25～29 歳、30～34 歳では「正社員・正職員」がそれぞれ 64.1%、66.1%で最も高くなっています。<br>○35～39 歳では、「正社員・正職員」は 51.9%で、「パート・アルバイト」がやや多くなり 26.4%となっています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学区では「就労・就学をしていない」が 14.0%で、他と比べるとやや高くなっています。<br>○富貴小学校では「パート・アルバイト」が 19.5%、「契約社員・派遣社員」が 7.3%で、他と比べこの両者がやや高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無については、「正社員・正職員」が 46.8%で最も多く、次いで、「学生」の 32.8%が高くなっています。<br>○既婚等・子ども無では、「正社員・正職員」が 59.6%、「パート・アルバイト」が 19.1%、「契約社員・派遣社員」が 10.6%で、この３者で 89.3%を占めています。<br>○既婚等・子ども有では、「正社員・正職員」が 54.1%、「パート・アルバイト」が 23.8%で、これに次いで「就労・就学をしてない」の割合が高く 18.0%となっています。 |

## 図表 3-2-1　職業


正社員・正職員（育児休業中も含む）
自営業・農林水産業・個人事業者
パート・アルバイト
契約社員・派遣社員
学生
その他
就労・就学をしていない
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
n =
全体 409
51.8% 2.0% 15.9% 4.6% 14.9% 0.2% 9.8%
性別
男性 166
68.1% 3.6% 3.6% 4.8% 16.9% 2.4%
女性 241
41.1% 0.8% 24.1% 4.6% 13.7% 0.4% 14.9%
年代
18～19歳 36
8.3% 11.1% 2.8% 77.8%
20～24歳 73
37.0% 2.7% 4.1% 5.5% 45.2% 4.1%
25～29歳 78
64.1% 1.3% 16.7% 7.7% 10.3%
30～34歳 112
66.1% 2.7% 15.2% 3.6% 0.9% 10.7%
35～39歳 106
51.9% 1.9% 26.4% 3.8% 16.0%
居住地区
緑丘小学校区 107
50.5% 1.9% 15.9% 4.7% 12.1% 14.0%
武豊小学校区 136
53.7% 2.9% 15.4% 2.9% 17.6% 7.4%
衣浦小学校区 82
53.7% 13.4% 4.9% 15.9% 1.2% 11.0%
富貴小学校区 82
50.0% 2.4% 19.5% 7.3% 13.4% 6.1%
子ども
未婚・子ども無 186
46.8% 2.2% 8.1% 6.5% 32.8% 3.2%
既婚等・子ども無 47
59.6% 2.1% 19.1% 10.6% 2.1% 6.4%
既婚等・子ども有 172
54.1% 1.7% 23.8% 1.2% 18.0%

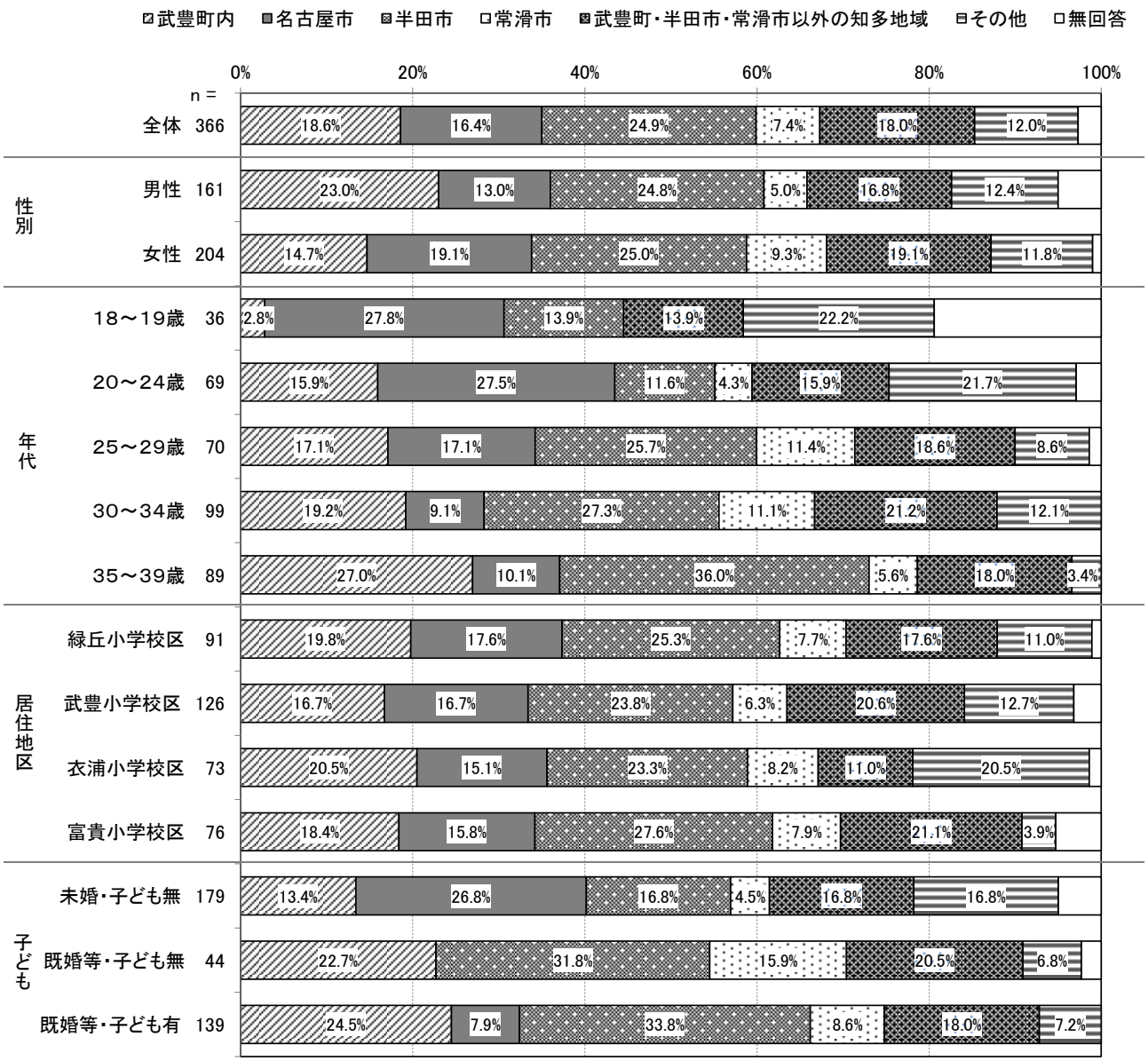
## （２）通勤・通学先

問１　あなたのことについて、お尋ねします。
（９）勤務先や通学先の所在地（１つに○印）

前問で「就労・就学をしていない」、「無回答」であった 43 名を除く 366 名の通勤・通学先については、「半田市」が 24.9%で最も高くなっており、次いで「武豊町内」の 18.6%、「武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域（以下、知多地域）」の 18.0%、「名古屋市」の 16.4%、「その他」の 12.0%、「常滑市」の 7.4%となっています。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男性では「半田市」が 24.8%、「武豊町内」が 23.0%です。「武豊町内」は女性よりも 8.3 ポイント高くなっています。<br>○女性では「半田市」の 25.0%に次いで、「名古屋市」と「知多地域」がともに 19.1%で高くなっています。特に「名古屋市」は男性を 6.1 ポイント上回っています。 |
| 年代 | ○18～19 歳、20～24 歳では「名古屋市」が最も多く、それぞれ 27.8%、27.5%と３割近くを占めています。<br>○25～29 歳、30～34 歳では「半田市」が最も高く、それぞれ 25.7%、27.3%です。次いで高いのは「知多地域」となっており、それぞれ 18.6%、21.2%を占めています。<br>○35～39 歳では「半田市」が 36.0%、次いで「武豊町内」の 27.0%となっています。35～39 歳では「半田市」と「武豊町内」が占める割合が 63.0%と非常に大きくなっています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学区では「半田市」に次いで「武豊町内」が高くなっています。<br>○武豊小学校区では、「半田市」に次いで「知多地域」が高くなっています。<br>○衣浦小学校区では、「半田市」に次いで、「武豊町内」と「その他」が高くなっています。<br>○富貴小学校区では、「半田市」に次いで「知多地域」が高くなっています。<br>○小学校区別にみて、「半田市」が占める割合が最も高いのは富貴小学校区で 27.6%、また「武豊町内」が最も高いのは衣浦小学校区で 20.5%となっています。 |
| 結婚・子ども | ○未婚・子ども無では、「名古屋市」が 26.8%で最も高くなっています。これに次ぐのは「半田市」、「知多地域」、「その他」がいずれも 16.8%になっています。<br>○既婚等・子ども無では、「半田市」の 31.8%、「武豊町内」の 22.7%が高く、この両者が占める割合は 54.5%と半数を超えています。<br>○既婚等・子ども有になると、「半田市」は 33.8%、「武豊町内」は 24.5%とさらに高くなり、この両者が占める割合は 58.3%と６割近くになっています。 |

## 図表 3-2-2　通勤・通学先


武豊町内
名古屋市
半田市
常滑市
武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域
その他
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
n =
全体 366 18.6% 16.4% 24.9% 7.4% 18.0% 12.0%
性別
男性 161 23.0% 13.0% 24.8% 5.0% 16.8% 12.4%
女性 204 14.7% 19.1% 25.0% 9.3% 19.1% 11.8%
年代
18～19歳 36 2.8% 27.8% 13.9% 13.9% 22.2%
20～24歳 69 15.9% 27.5% 11.6% 4.3% 15.9% 21.7%
25～29歳 70 17.1% 17.1% 25.7% 11.4% 18.6% 8.6%
30～34歳 99 19.2% 9.1% 27.3% 11.1% 21.2% 12.1%
35～39歳 89 27.0% 10.1% 36.0% 5.6% 18.0% 3.4%
居住地区
緑丘小学校区 91 19.8% 17.6% 25.3% 7.7% 17.6% 11.0%
武豊小学校区 126 16.7% 16.7% 23.8% 6.3% 20.6% 12.7%
衣浦小学校区 73 20.5% 15.1% 23.3% 8.2% 11.0% 20.5%
富貴小学校区 76 18.4% 15.8% 27.6% 7.9% 21.1% 3.9%
子ども
未婚・子ども無 179 13.4% 26.8% 16.8% 4.5% 16.8% 16.8%
既婚等・子ども無 44 22.7% 31.8% 15.9% 20.5% 6.8%
既婚等・子ども有 139 24.5% 7.9% 33.8% 8.6% 18.0% 7.2%

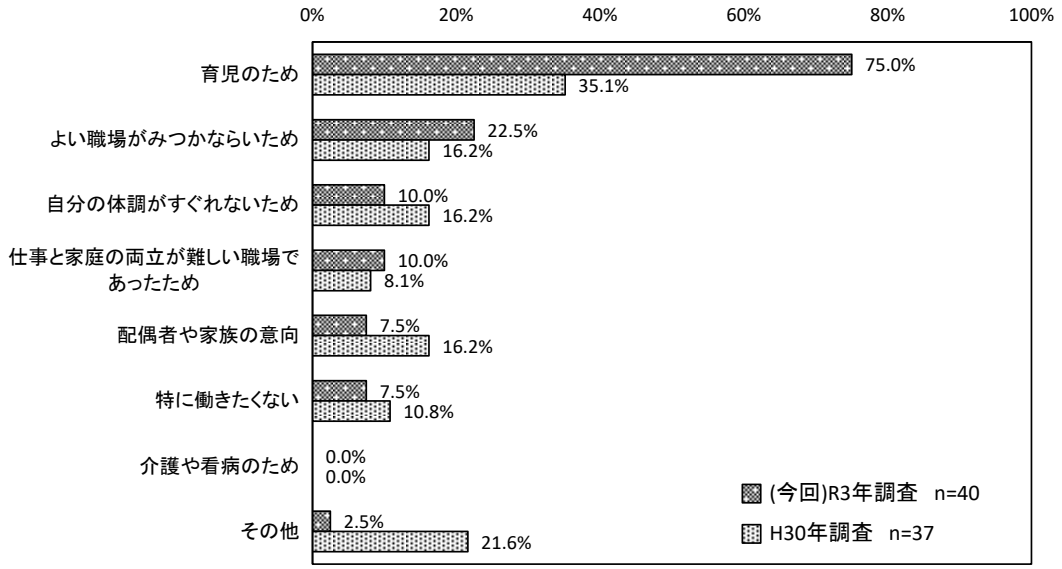
## （3）働いていない理由

問1　あなたのことについて、お尋ねします。
（10）働いていない理由をお教えください。（主な理由２つに○印）

「就労・就学をしていない」と回答した 40 名を対象に、働いていない理由をたずねたところ、「育児のため」が 75.0%で最も高くなっています。次いで「よい職場がみつからない」が 22.5%、「自分の体調がすぐれないため」と「仕事と家庭の両立が難しい職場であったため」がともに 10.0%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「育児のため」が 35.1%から 75.0%と大きく伸びています。また、「よい職場がみつからない」でも 16.2%から 22.5%と 6.3 ポイント高くなっています。この２つ以外は割合が低下しています。

図表 3-2-3　働いていない理由（過去調査との比較）　-複数回答（主なもの２つ）-



## ３－３　武豊町の暮らしやすさ

### （１）住みごこち

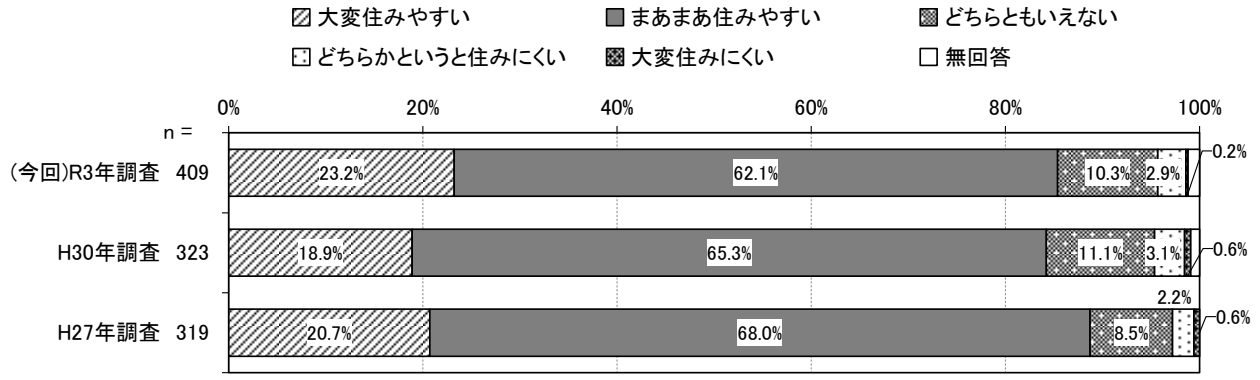
問２　武豊町の住みごこちはどう思いますか。（１つに○印）

「大変住みやすい」が 23.2%、「まあまあ住みやすい」が 62.1%であり、両者をあわせると 85.3%となります。８割以上の方が武豊町は住みやすいと評価しています。一方、「大変住みにくい」は 0.2%、「どちらかというと住みにくい」は 2.9%となっています。

平成 30 年調査では、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は 84.2%でした。平成 30 年調査と今回を比べると 1.1 ポイントの増加となっています。

また、平成 27 年調査では、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は 88.7%でした。平成 27 年調査と比べると 3.4 ポイント低くなっています。

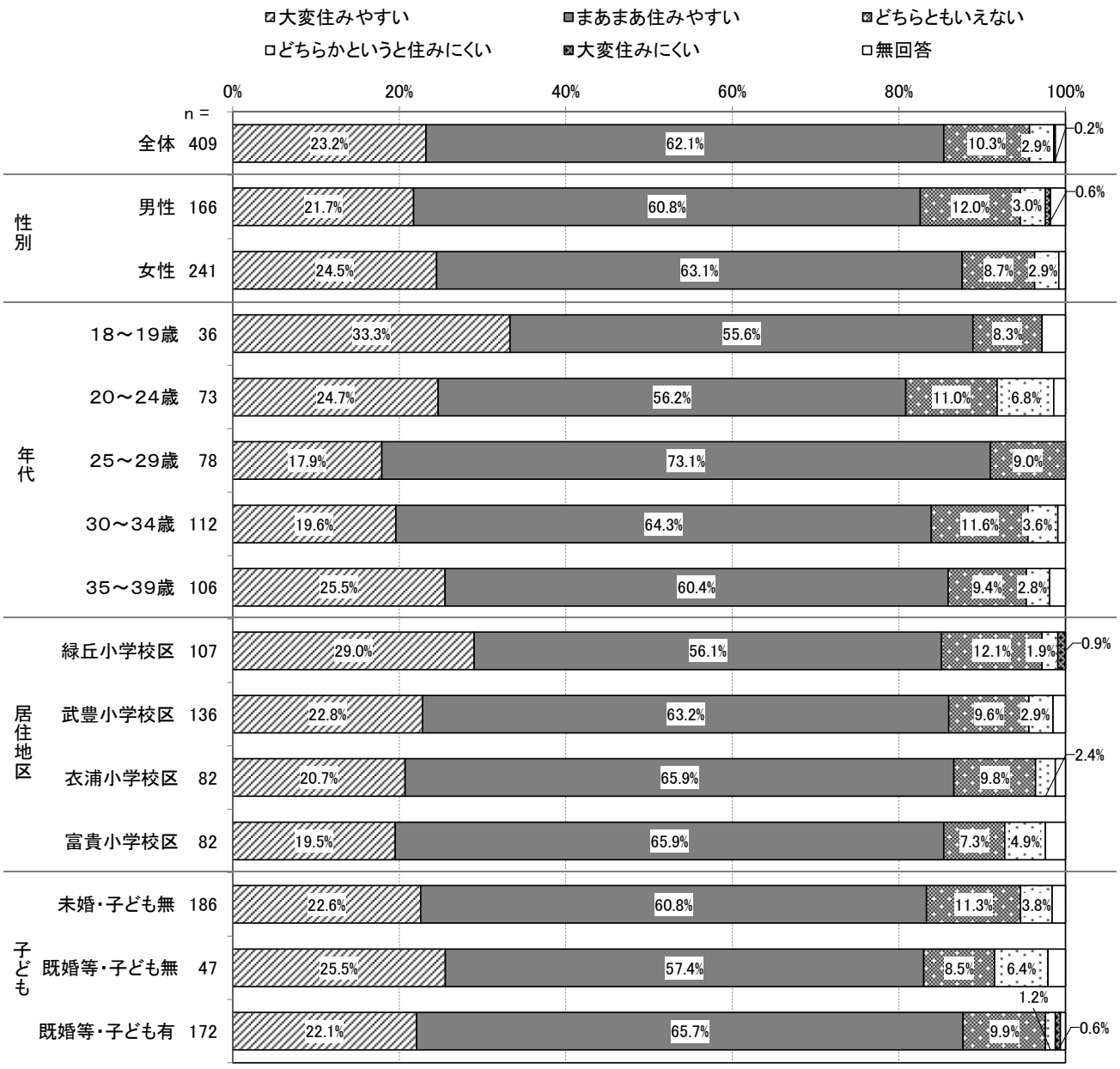
図表 3-3-1　住みごこち（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合で傾向をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は、男性で 82.5%、女性で 87.6%で、女性の方が 5.1 ポイント高くなっています。 |
| 年代 | ○25～29 歳が 91.0%で最も高くなっています。次いで高いのは 18～19 歳の 88.9%です。特に 18～19 歳では「大変住みやすい」が 33.3%と他と比較して最も高くなっています。 |
| 居住地区 | ○衣浦小学校区が 86.6%、武豊小学校区が 86.0%、富貴小学校区が 85.4%、緑丘小学校区が 85.1%となっています。居住地区の違いによる顕著な差異はみられません。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども有が最も高く 87.8%となっています。既婚等・子ども無は 82.9%で両者の間には 4.9 ポイントの開きがあります。子どもの有無によって住みやすさの評価にやや違いが生じています。 |

## 図表 3-3-2　属性別、住みごこち



## （２）武豊町を選んだ理由

| |
|---|
| 問３　武豊町を選んだ理由は何ですか。（３つまでに○印） |

武豊町を選んだ理由については、「実家があるから（生まれたときから武豊町に住んでいる・住んでいた）」が 53.3%で最も高くなっています。次いで「仕事先や学校へ自家用車で通勤・通学するのに便利だったから」が高く 22.0%となっています。

この他では、「住宅が購入しやすかったから」の 15.2%、「家族・親戚が近くに住んでいたから」の 13.4%、「夫・妻がすでに住んでいたから（結婚のため）」の 10.3%等が比較的高くなっています。

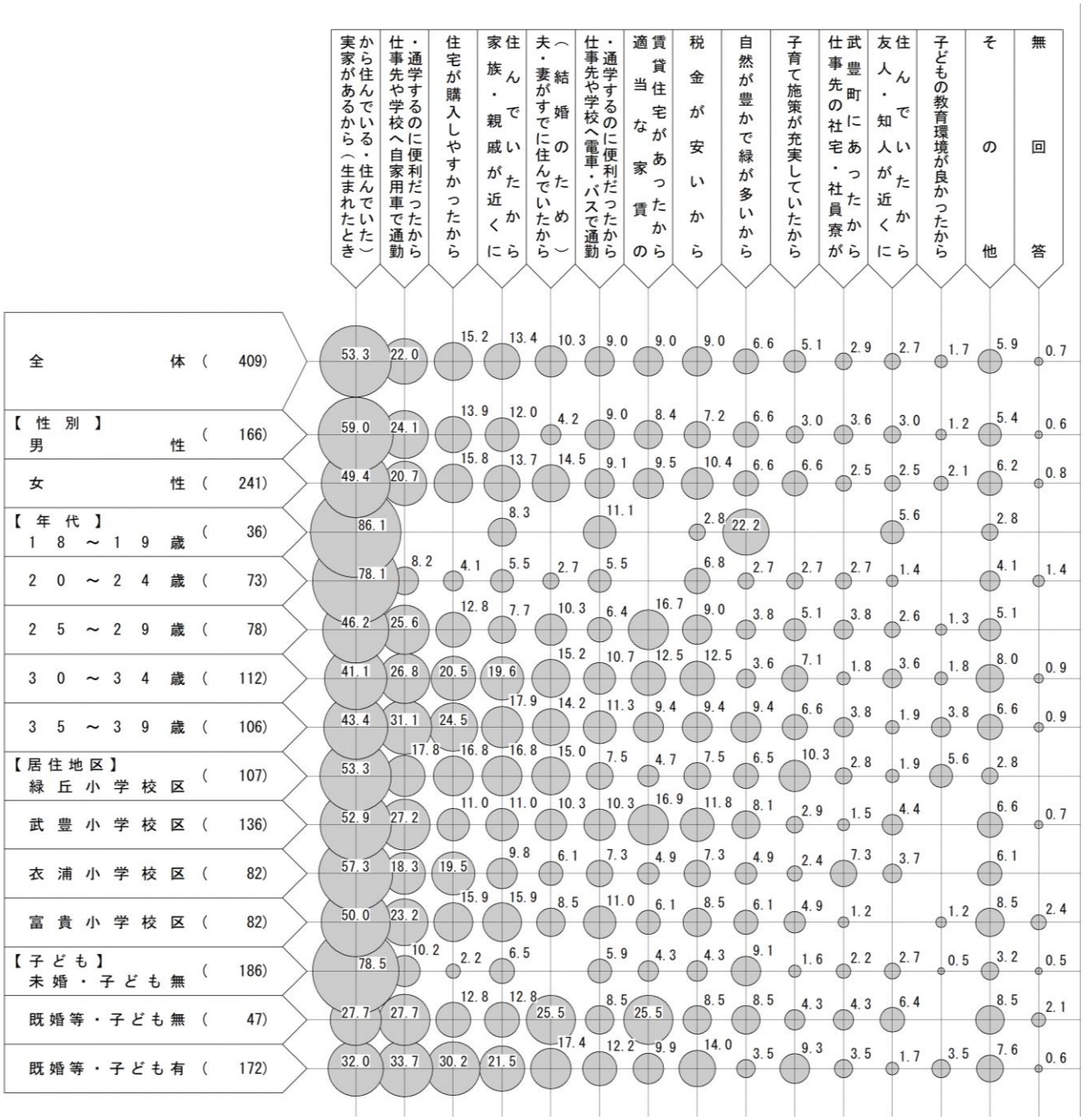
武豊町の生まれで実家がある、夫・妻がすでに住んでいた、家族・親戚が近くに住んでいるといった家族・親族関係に関わる理由以外では、自家用車で通勤に便利、住宅が購入しやすいという点が選択の理由になっています。

以下、回答者の属性別に、武豊町を選んだ理由の傾向をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「実家があるから」が男女とも高くなっていますが、男性は 59.0%、女性は 49.4%で、男性の方が 9.6 ポイント高くなっています。<br>○一方、「夫・妻がすでに住んでいたから」は、男性が 4.2%に対して女性は 14.5%で、女性の方が 10.3 ポイント高くなっています。 |
| 年代 | ○18～19 歳、20～24 歳では、「実家があるから」がそれぞれ 86.1%、78.1%と非常に高くなっています。生まれたときから武豊町に住んでいる方が大半を占めているものと考えられます。<br>○25～29 歳になると、「実家があるから」は 46.2%と半数以下になり、「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 25.6%を占めるようになっています。これに次いで多いのは「適当な家賃の賃貸住宅があったから」で 16.7%となっています。<br>○30～34 歳では、「実家があるから」が 41.1%で最も高くなっていますが、次いで、「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 26.8%、「住宅が購入しやすかったから」が 20.5%となっています。また、「家族・親戚が近くに住んでいたから」も比較的多く 19.6%を示しています。<br>○35～39 歳も同様で、「実家があるから」が 43.4%で最も高くなっていますが、次いで、「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 31.1%、「住宅が購入しやすかったから」が 24.5%となっています。また、「家族・親戚が近くに住んでいたから」も比較的多く 17.9%を示しています。 |
| 居住地区 | ○いずれの居住地区も「実家があるから」が 50%台を示し最も高くなっています。<br>○緑丘小学校区では、「子育て施策が充実していたから」が 10.3%で、相対的に高い割合を示しています。<br>○武豊小学校区では、「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 27.2%でやや高く、また、「適当な家賃の賃貸住宅があったから」が 16.9%で、他の居住地区と比べると高くなっています。<br>○衣浦小学校区では「住宅が購入しやすかったから」が 19.5%で、他の居住地区と比べるとやや高くなっています。 |

| | |
|---|---|
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では、「実家があるから」が 78.5%で最も高くなっています。<br>○既婚等・子ども無では、「実家があるから」と「自家用車で通勤するのに便利だったから」はともに 27.7%で、「夫・妻がすでに住んでいたから」と「適当な家賃の賃貸住宅があったから」もともに 25.5%を示しています。<br>○既婚等・子ども有では「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 33.7%で最も高くなっています。この他でも、「実家があるから」の 32.0%、「住宅が購入しやすかったから」の 30.2%、「家族・親戚が近くに住んでいたから」の 21.5%、「夫・妻がすでに住んでいたから」の 17.4%、「税金が安いから」の 14.0%などが武豊町を選んだ理由としてあげられています。 |

図表 3-3-3　属性別、武豊町を選んだ理由　-複数回答（３つまで）-



## （3）今後の居住意向

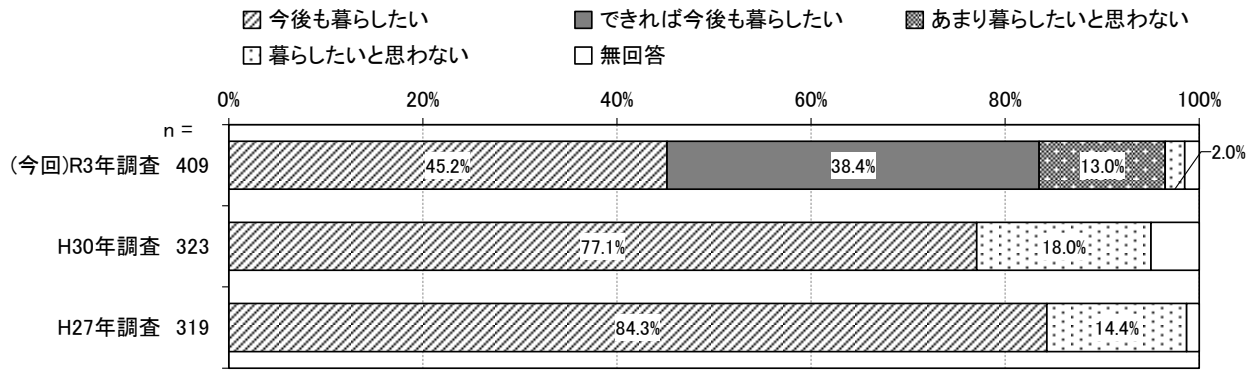
問4　今後も武豊町で暮らしたいと思いますか。（1つに○印）

「今後も暮らしたい」は 45.2%、「できれば今後も暮らしたい」は 38.4%で、両者をあわせた割合（＝『今後も暮らしたい』）は 83.6%となっています。

過去調査では、『今後も暮らしたい』と『暮らしたいと思わない』の２つの選択肢で今後の居住意向をたずねていました。これをみると『今後も暮らしたい』は平成 27 年調査で 84.3%、平成 30 年調査で 77.1%でした。平成 27 年調査から平成 30 年調査にかけて今後の居住意向は低下していましたが、今回調査では平成 30 年調査と比べ 6.5 ポイント高くなっています。

なお、「暮らしたいと思わない」は 2.0%、「あまり暮らしたいと思わない」は 13.0%で、両者を合わせた割合（＝『暮らしたいと思わない』）は 15.0%となっています。

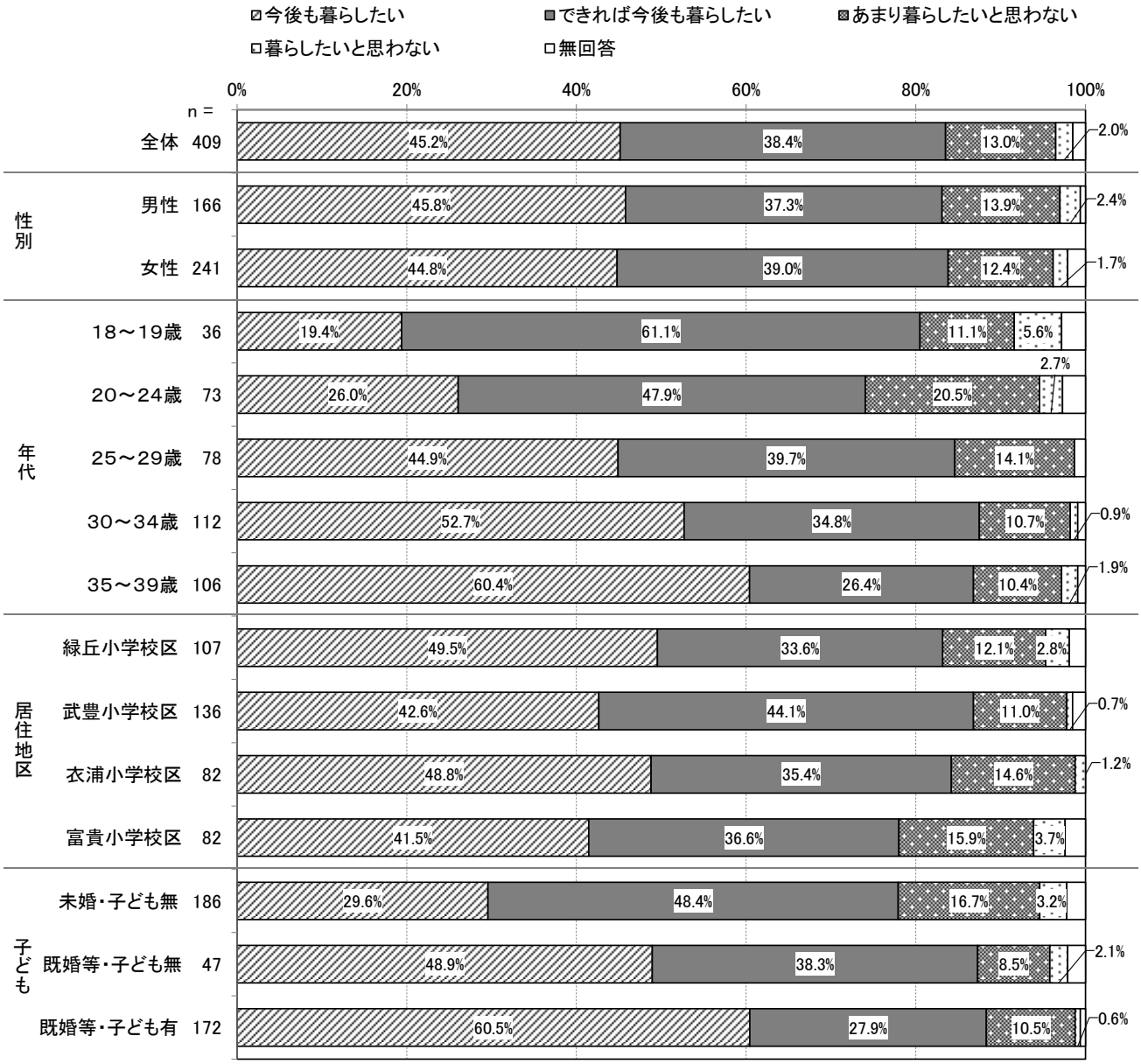
図表 3-3-4　今後の居住意向（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に、『今後も暮らしたい』の割合で傾向をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男性は 83.1%、女性は 83.8%です。性別による顕著な差異はみられません。 |
| 年代 | ○18～19 歳では 80.5%、20～24 歳では 73.9%で、『今後も暮らしたい』と考えている割合は相対的に若い世代で低くなっています。この年代では『暮らしたいと思わない』は 18～19 歳で 16.7%、20～24 歳で 23.2%となっておりともに高くなっています。<br>○25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では、『今後も暮らしたい』は順に 84.6%、87.5%、86.8%で 80%台の半ばの高い割合を示しています。なお、「今後も暮らしたい」は 44.9%、52.7%、60.4%となっており、年代が上がるにつれて高くなっています。 |
| 居住地区 | ○武豊小学校区が 86.7%、衣浦小学校区が 84.2%、緑丘小学校区が 83.1%となっています。富貴小学校区は 78.1%で唯一 80%を下回っています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無は 78.0%で８割以下です。今後も暮らしたいと考えている割合が相対的に低くなっています。<br>○既婚等・子ども無は 87.2%、既婚等・子ども有は 88.4%で、既婚等は定住意向が強く表れています。 |

## 図表 3-3-5　属性別、今後の居住意向



## （4）武豊町で暮らしたい理由

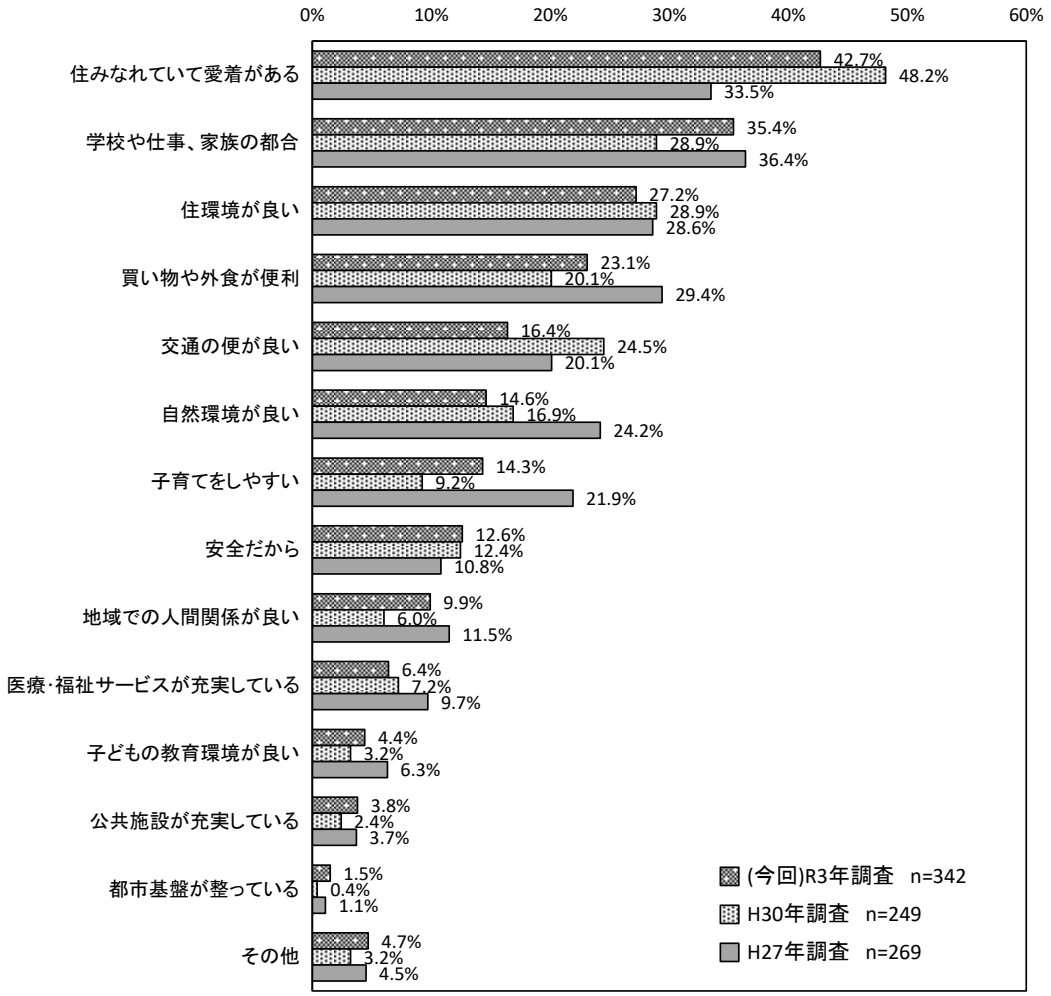
問4-1　武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか。（3つまでに○印）

「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」と回答した 342 名を対象に、武豊町で暮らしたい理由をたずねたところ、「住みなれていて愛着がある」が 42.7%と最も高く、次いで「学校や仕事、家族の都合」の 35.4%、「住環境が良い」の 27.2%、「買い物や外食が便利」の 23.1%が上位にあげられました。

平成 30 年調査と比較すると、「住みなれていて愛着がある」は 5.5 ポイントの減少となっており、「学校や仕事、家族の都合」は 6.5 ポイントの上昇となっています。

このほか、「子育てをしやすい」は 5.1 ポイント、「買い物や外食が便利」は 3.0 ポイントの上昇となっていますが、「交通の便が良い」は 8.1 ポイント、「自然環境が良い」は 2.3 ポイント、「住環境が良い」は 1.7 ポイントの減少となっています。

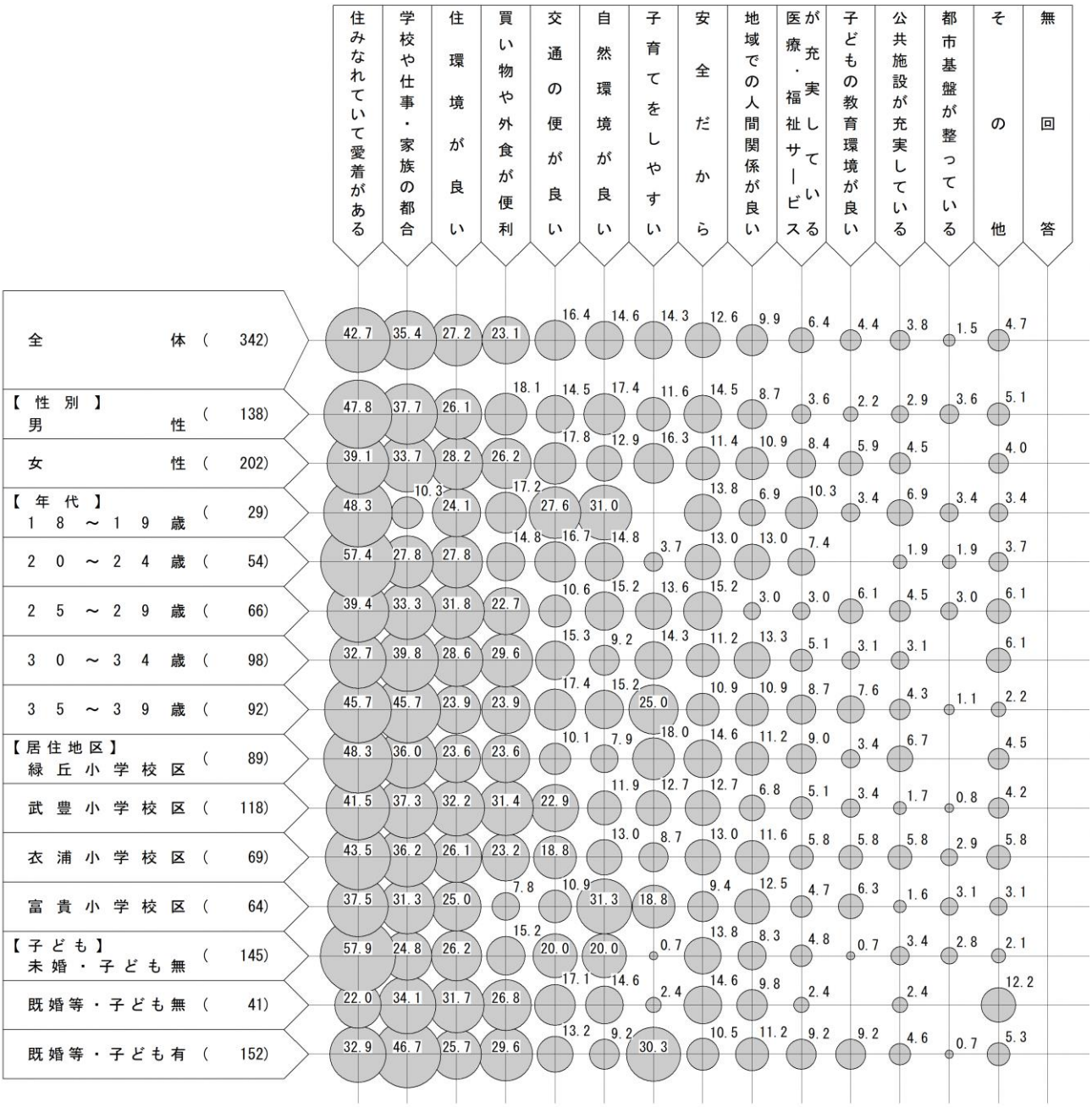
図表 3-3-6　武豊町で暮らしたい理由（過去調査との比較）　-複数回答（3つまで）-



以下、回答者の属性別に、武豊町で暮らしたい理由の傾向をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「住みなれていて愛着がある」は男女とも最も高くなっていますが、男性では 47.8%、女性は 39.1%で、男性の方が 8.7 ポイント高くなっています。また、男性では「学校や仕事、家族の都合」が 37.7%と高く、女性より 4.0 ポイント高くなっています。<br>○女性では「買い物や外食が便利」が 26.2%で、男性の 18.1%を 8.1 ポイント上回っています。また、「子育てをしやすい」が 16.3%で男性より 4.7 ポイント高くなっています。 |
| 年代 | ○18～19 歳では、「住みなれていて愛着がある」が 48.3%で最も高くなっていますが、それに次いで高いのは、「自然環境がよい」の 31.0%、「交通の便がよい」の 27.6%となっています。<br>○20～24 歳では、「住みなれていて愛着がある」が 57.4%で、世代間で最も高い割合を示しています。<br>○30～34 歳になると、「住みなれていて愛着がある」に代わって「学校や仕事、家族の都合」が最も高くなり 39.8%となっています。また、「買い物や外食が便利」が 29.6%で他と比べやや高くなっています。<br>○35～39 歳では、「住みなれていて愛着がある」と「学校や仕事、家族の都合」がともに 45.7%で最も高くなっています。また、「子育てをしやすい」が 25.0%と高い割合を示している点が特徴的です。 |
| 居住地区 | ○いずれの地区でも「住みなれていて愛着がある」が最も高くなっていますが、緑丘小学校区では 48.3%と他の地区に比べて高くなっています。<br>○武豊小学校区では、「住環境が良い」の 32.2%、「買い物や外食が便利」の 31.4%、「交通の便が良い」の 22.9%が、他の地区と比べて相対的に高くなっています。<br>○富貴小学校区では「自然環境が良い」が 31.3%で、全体の 14.6%を 16.7 ポイントも上回っており特徴的な傾向を示しています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では「住みなれていて愛着がある」が 57.9%で、全体の 42.7%を 15.2 ポイント上回る高い割合を示しています。<br>○既婚等・子ども無では、「学校や仕事、家族の都合」が 34.1%で最も高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「学校や仕事、家族の都合」が 46.7%で最も高くなっており、次いで、「住みなれていて愛着がある」が 32.9%となっています。また、「子育てをしやすい」が 30.3%、「買い物や外食が便利」が 29.6%となっており、他と比べて高くなっています。 |

図表 3-3-7　属性別、武豊町で暮らしたい理由　-複数回答（３つまで）-



## （5）武豊町で暮らしたいと思わない理由

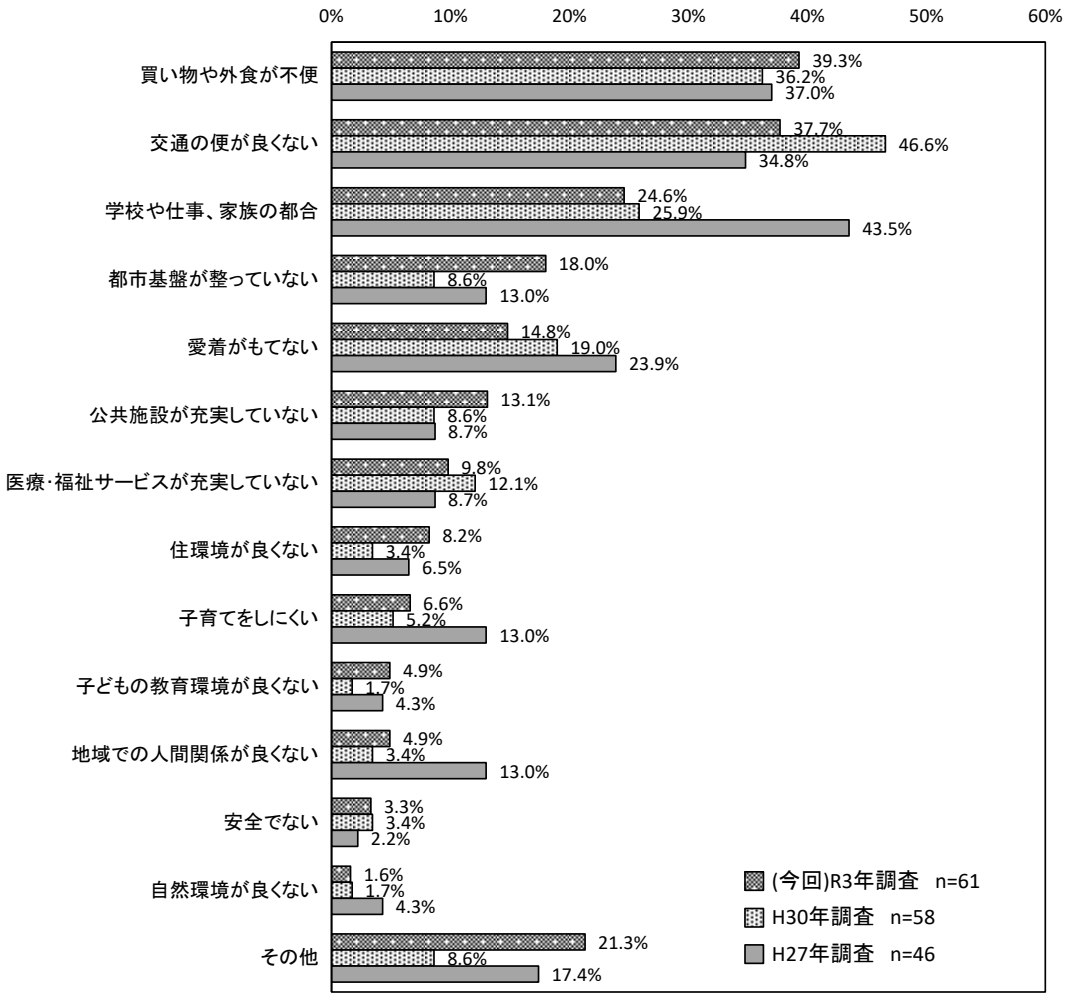
問4-2　武豊町で暮らしたいと思わない理由は何ですか。（3つまでに○印）

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」と回答した 61 名を対象として、暮らしたくない理由をたずねたところ、「買い物や外食が不便」が 39.3%で最も高く、次いで、「交通の便が良くない」が 37.7%、「学校や仕事、家族の都合」が 24.6%と続いています。

平成 30 年調査と比較すると、「買い物や外食が不便」は 3.1 ポイント上昇しており、「交通の便が良くない」は 8.9 ポイントの低下、「学校や仕事、家族の都合」は 1.3 ポイントの低下となっています。

平成 27 年調査から、継続して上昇しているものはみられませんが、「学校や仕事、家族の都合」は平成 27 年の 43.5%、平成 30 年の 25.9%から 24.6%へと継続して減少しており、18.9 ポイント低下しています。また、「愛着が持てない」についても 23.9%から 19.0%、14.8%と減少しており、9.1 ポイント低下しています。

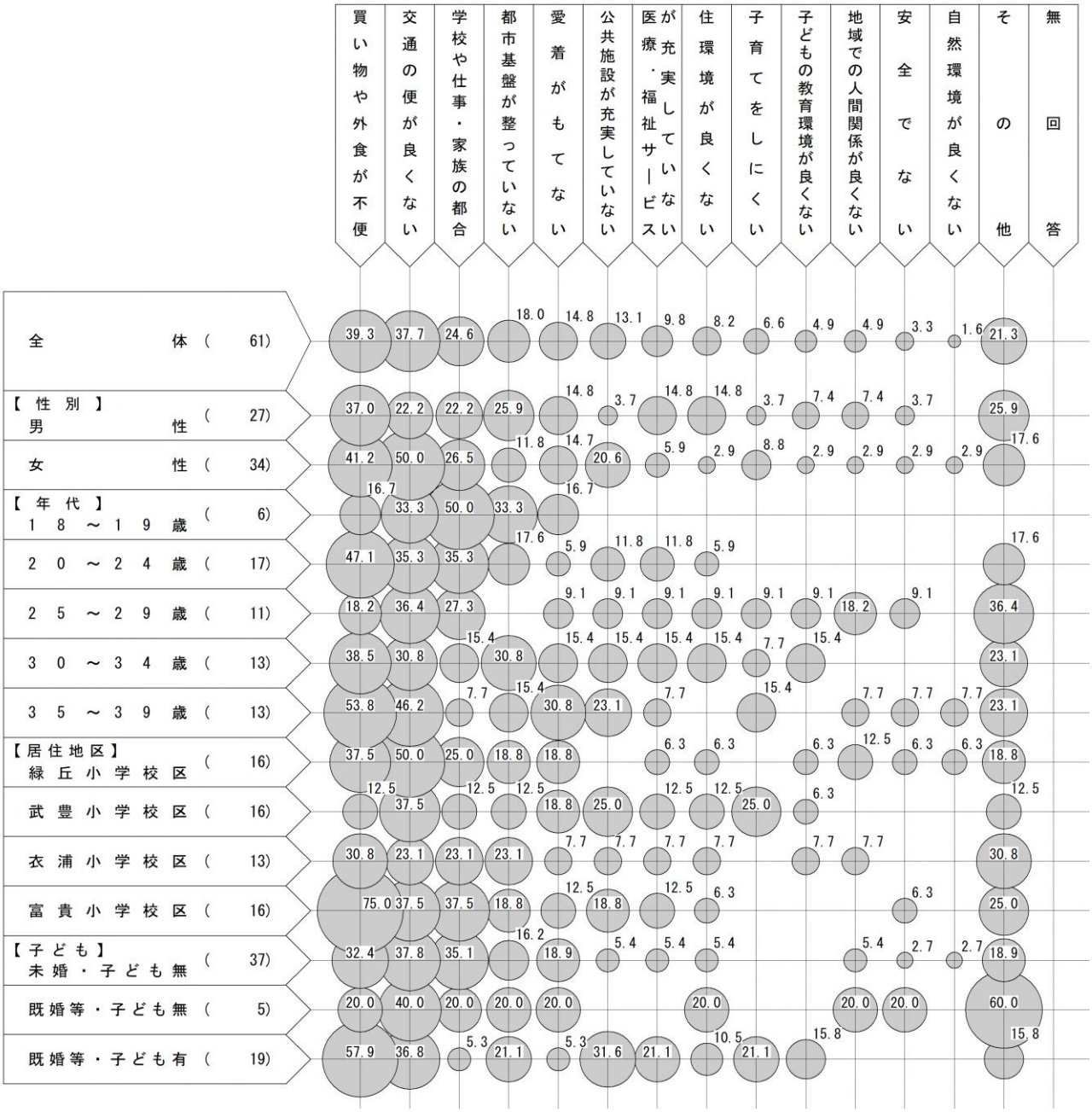
図表 3-3-8　暮らしたいと思わない理由（過去調査との比較）　-複数回答（3つまで）-



以下、回答者の属性別に、暮らしたいと思わない理由をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男性では、「都市基盤が整っていない」が 25.9%と高く、女性の 11.8%を 14.1 ポイント上回っています。このほか、「医療・福祉サービスが充実していない」、「住環境がよくない」も男性の方が高くなっています。<br>○女性では、「交通の便が良くない」が 50.0%と非常に高く、男性の 22.2%を 27.8 ポイントも上回っています。このほか、「公共施設が充実していない」は 20.6%で、男性の 3.7%を 16.9 ポイント上回っています。 |
| 年代 | ○20～24 歳では、「買い物や外食が不便」が最も高くなっています。<br>○30～34 歳、35～39 歳では、ともに「買い物や外食が不便」が最も高くなっています。<br>○18～19 歳は母数が少ないため、比較分析するには十分ではありません。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区、武豊小学校区では、ともに「交通の便が良くない」が最も高くなっています。<br>○衣浦小学校では、回答が分散しています。<br>○富貴小学校区では、「買い物や外食が不便」が最も高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども有では、「買い物や外食が不便」が 57.9%と高い割合を示しています。<br>○既婚等・子ども無は母数が少ないため、比較分析するには十分ではありません。 |

図表 3-3-9　属性別、暮らしたいとは思わない理由　-複数回答（３つまで）-

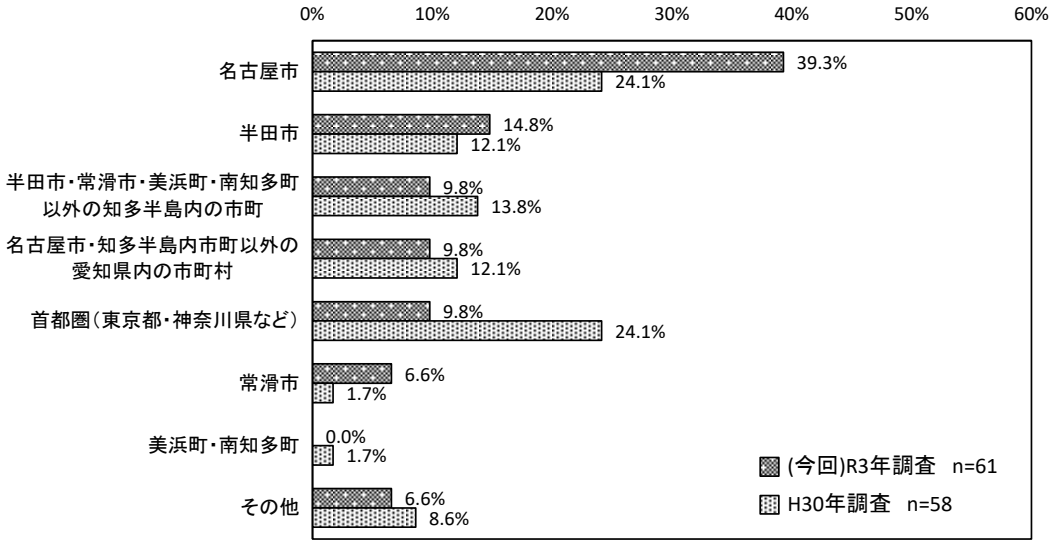


## （6）武豊町以外で暮らしたい地域

問4-3　武豊町以外で暮らす場合、どの地域で暮らしたいと思いますか。（1つに○印）

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」と回答した 61 名を対象として、武豊町以外で暮らしたい地域をたずねたところ、「名古屋市」が最も高く 39.3%となりました。このほかは、「半田市」が 14.8%、「首都圏（東京都・神奈川県など）」が 9.8%、「半田市・常滑市・美浜町・南知多町以外の知多半島内の市町」が 9.8%、「名古屋市・知多半島内市町以外の愛知県内の市町村」が 9.8%、「常滑市」が 6.6%、「その他」が 6.6%となりました。

図表 3-3-10　武豊町以外で暮らしたい地域（過去調査との比較）



## （7）暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと

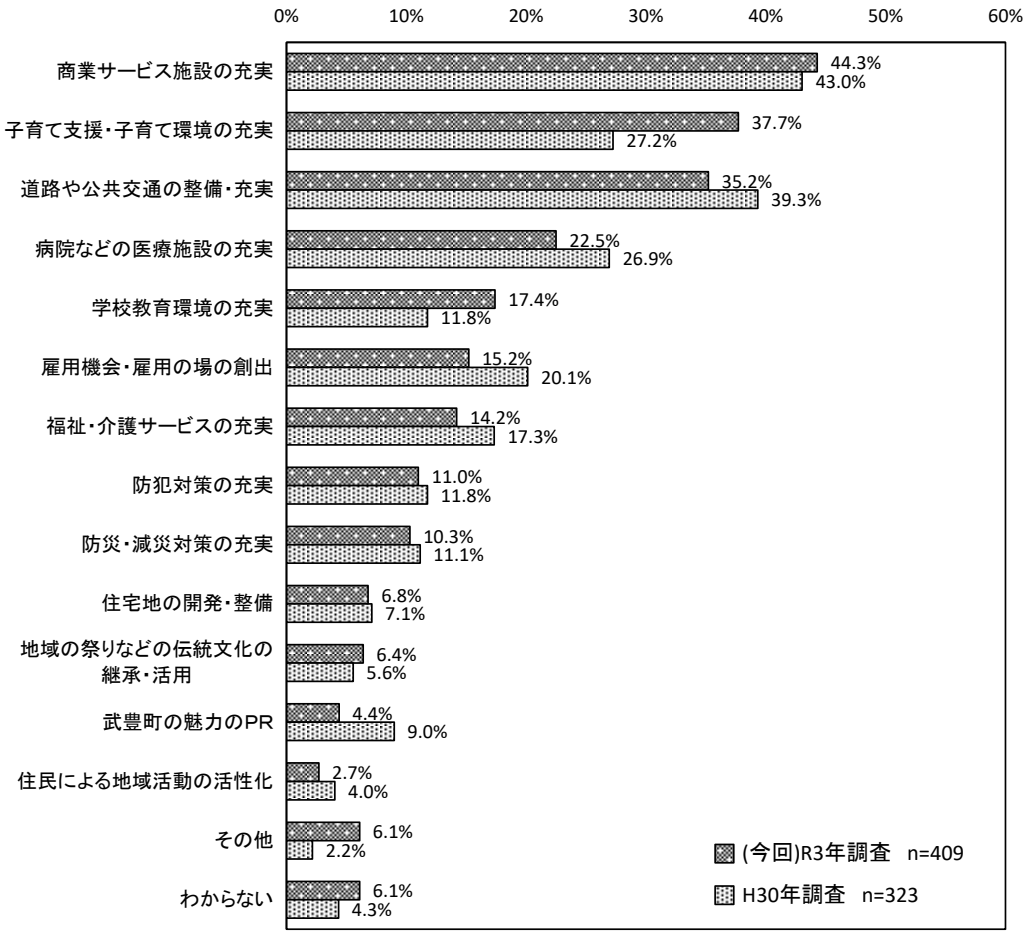
問5　武豊町を暮らしやすい町とするために、どのような環境整備に力を入れるべきだと思いますか。（3つまでに○印）

暮らしやすい町にするために力を入れるべきこととしては、「商業サービス施設の充実」が44.3%で最も高くなっています。次いで「子育て支援・子育て環境の充実」が37.7%、「道路や公共交通の整備・充実」が35.2%、、「病院などの医療施設の充実」が22.5%と続いています。

平成30年調査と比較すると、「子育て支援・子育て環境の充実」は10.5ポイント上昇しています。また、「学校教育環境の充実」が5.6ポイント、「商業サービス施設の充実」が1.3ポイントの上昇となっています。

逆に、「雇用機会・雇用の場の創出」は4.9ポイント、「病院などの医療施設の充実」は4.4ポイント、「道路や公共交通の整備・充実」は4.1ポイント、「福祉・介護サービスの充実」は3.1ポイントの低下となっています。

図表3-3-11　暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと
（過去調査との比較）　-複数回答（3つまで）-

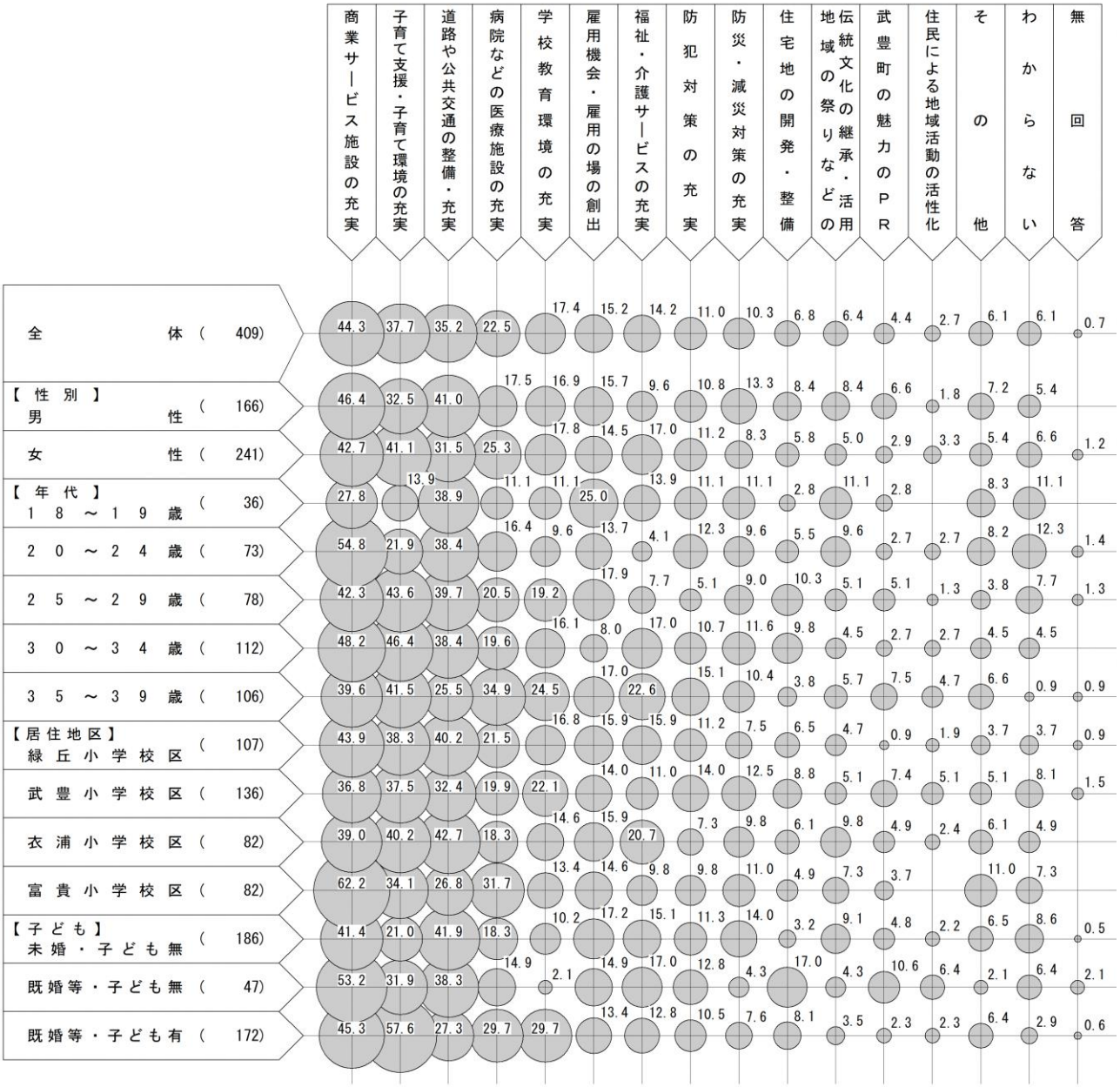


以下、回答者の属性別に、暮らしやすい町にするために力を入れるべきことをみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男女ともに、「商業サービス施設の充実」が最も多くなっています。<br>○男性では、「道路や公共交通の整備・充実」が 41.0%と高く、女性の 31.5%を 9.5 ポイント上回っています。また、「防災・減災対策の充実」も 13.3%とやや高いことが特徴で、女性を 5.0 ポイント上回っています。<br>○女性では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 41.1%で、男性の 32.5%を 8.6 ポイント上回っています。また、「病院などの医療施設の充実」が 25.3%とやや高く、男性を 7.8 ポイント上回っています。 |
| 年代 | ○18～19 歳では、「道路や公共交通の整備・充実」が 38.9%で最も高く、次いで「商業サービス施設の充実」の 27.8%となっています。「雇用機会・雇用の場の創出」の 25.0%が他の年代に比べて高く、「わからない」もやや高くなっています。<br>○20～24 歳では、「商業サービス施設の充実」が 54.8%で非常に高くなっています。「わからない」も 12.3%でやや高くなっています。<br>○25～29 歳、30～34 歳では、「商業サービス施設の充実」と「子育て支援・子育て環境の充実」が上位２つとなっていますが、「子育て支援・子育て環境の充実」が 40%台で他の年代に比べて高くなっている点が特徴的です。<br>○35～39 歳では、意見がやや分散する傾向がみられ、「子育て支援・子育て環境の充実」が 41.5%で最も高く、次いで「商業サービス施設の充実」の 39.6%、「病院などの医療施設の充実」の 34.9%となっています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では、「商業サービス施設の充実」の 43.9%に次いで、「道路や公共交通の整備・充実」の 40.2%が高くなっています。<br>○武豊小学校区では、「商業サービス施設の充実」は 36.8%で、他の地区に比べて低くなっています。<br>○衣浦小学校区では、「道路や公共交通の整備・充実」が 42.7%で最も高くなっています。<br>○富貴小学校区では「商業サービス施設の充実」が 62.2%で、他の地区に比べて最も高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では、「道路や公共交通の整備・充実」が 41.9%、「商業サービス施設の充実」が 41.4%で、この２つが特に高くなっています。<br>○既婚等・子ども無では、「商業サービス施設の充実」が 53.2%で、他と比べて特に高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 57.6%で最も高くなっています。また、「学校教育環境の充実」が 29.7%で相対的に高くなっています。 |

図表 3-3-12　属性別、暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと

-複数回答（３つまで）-



## ３－４　武豊町の魅力づくり

### （１）武豊町への愛着や親しみ

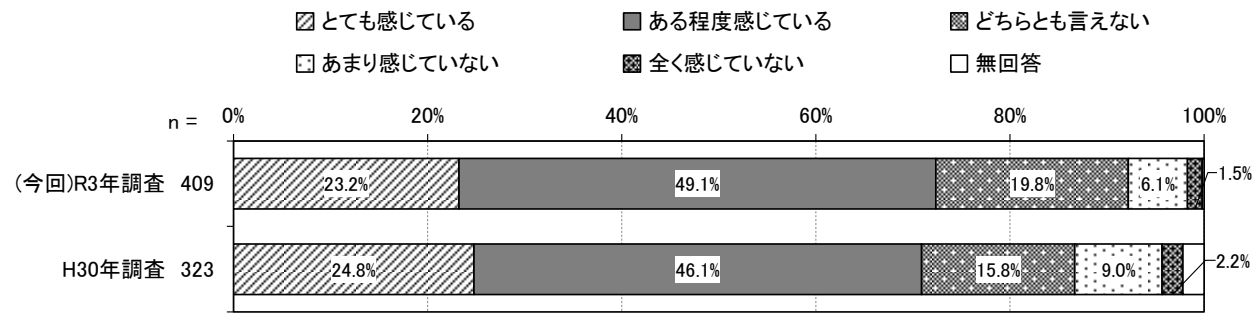
問６　あなたは、武豊町に愛着や親しみを感じていますか。（１つに○印）

武豊町への愛着や親しみについては、「とても感じている」が 23.2%、「ある程度感じている」が 49.1%となっています。この両者をあわせた『愛着や親しみを感じている』は 72.3%となります。「どちらとも言えない」は 19.8%、「あまり感じていない」は 6.1%、「全く感じていない」は 1.5%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「とても感じている」は 24.8%から 1.6 ポイントの低下、「ある程度感じている」は 46.1%から 3.0 ポイントの上昇となっています。両者をあわせた『愛着や親しみを感じている』は 1.4 ポイントの上昇となります。

また、「あまり感じていない」は 2.9 ポイント、「全く感じていない」は 0.7 ポイント低下しています。

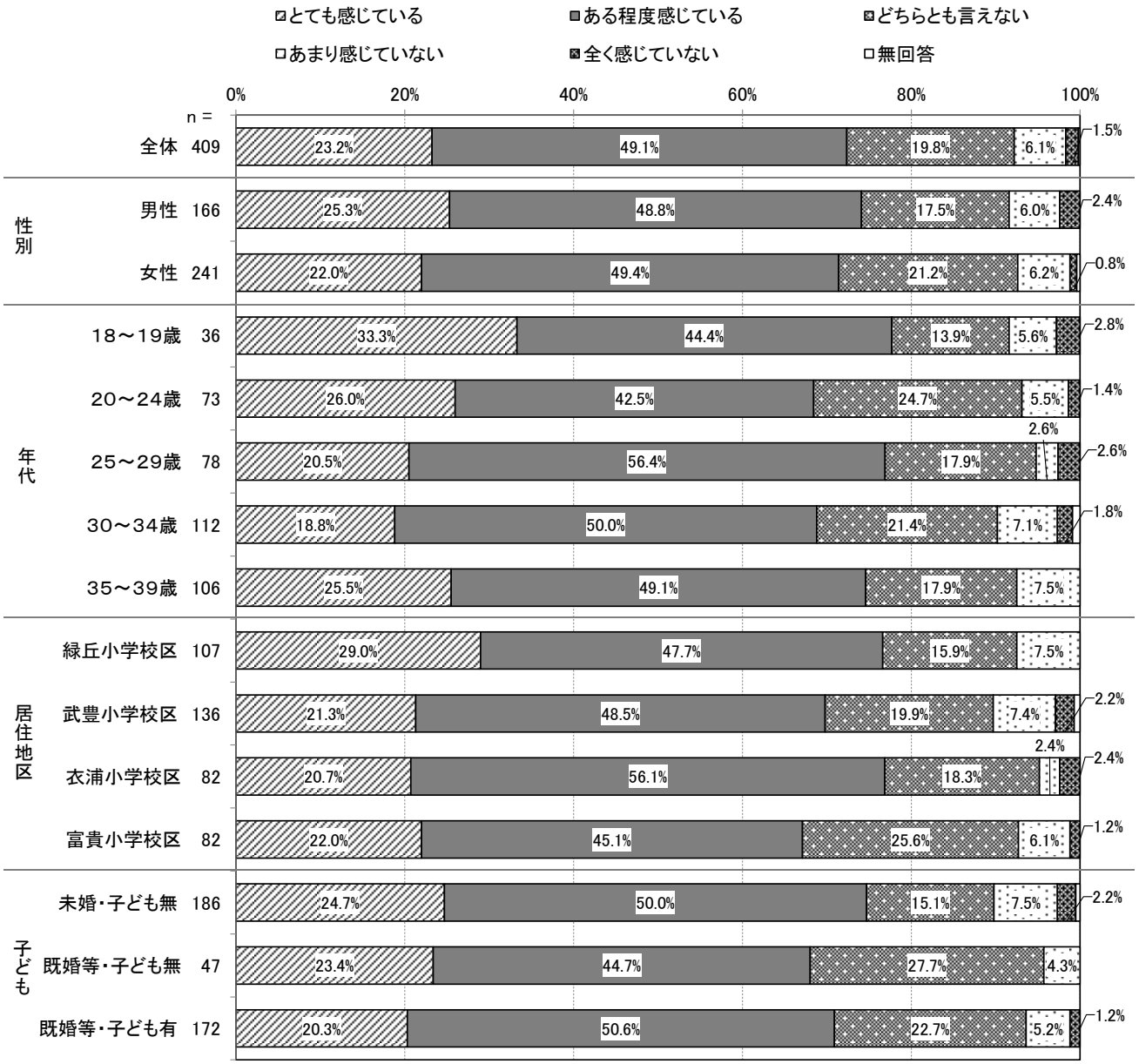
図表 3-4-1　武豊町への愛着や親しみ（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に、武豊町への愛着や親しみをみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「とても感じている」と「ある程度感じている」をあわせた『愛着や親しみを感じている』割合は、男性が 74.1%、女性が 71.4%で、男性の方がわずかに 2.7 ポイント高くなっています。 |
| 年代 | ○『愛着や親しみを感じている』割合は、18～19 歳で 77.7%と最も高く、次いで、25～29 歳の 76.9%が高くなっています。<br>○「とても感じている」は、18～19 歳から年代が上がるにつれて低下しますが、35～39 歳になると 25.5%となり高くなっています。 |
| 居住地区 | ○衣浦小学校区が 76.8%、緑丘小学校が 76.7%で、この２地区が全体の 72.3%を上回っています。<br>○緑丘小学校区では、「とても感じている」が 29.0%と、他地区と比べて最も高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無が 74.7%で全体よりも高くなっています。既婚等・子ども無では 68.1%、既婚等・子ども有では 70.9%です。 |

図表 3-4-2　属性別、武豊町への愛着や親しみ



## （2）参加したい活動

問7　武豊町を住みやすい、魅力あるまちにするために、どのような活動に参加してみたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

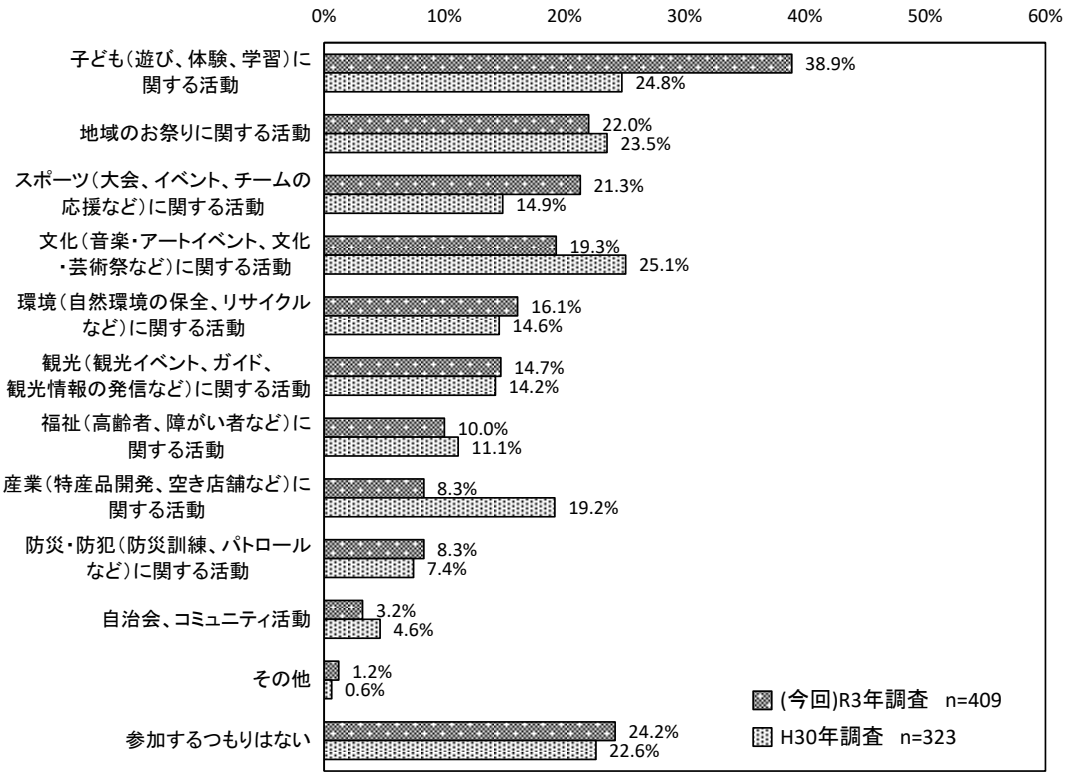
武豊町を住みやすい、魅力あるまちにするために参加してみたい活動については、「子ども（遊び、体験、学習）に関する活動」が 38.9%で最も高くなっています。次いで、「地域のお祭りに関する活動」が 22.0%、「スポーツ（大会、イベント、チームの応援など）に関する活動」が 21.3%、「文化（音楽・アートイベント、文化・芸術祭など）に関する活動」が 19.3%と続いています。

一方、「自治会、コミュニティ活動」は 3.2%と非常に少なくなっています。また、「参加するつもりはない」が 24.2%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「子どもに関する活動」は 14.1 ポイントの上昇で大きく伸びました。また、「スポーツに関する活動」も 6.4 ポイントの上昇となっています。逆に、「産業（特産品開発、空き店舗など）に関する活動」は 19.2%から 8.3%と実に 10.9 ポイント低下しており、「文化に関する活動」も 5.8 ポイント、「地域のお祭りに関する活動」も 1.5 ポイント低下しています。

なお、「参加するつもりはない」は 22.6%から 24.2%へと 1.6 ポイント高くなっています。

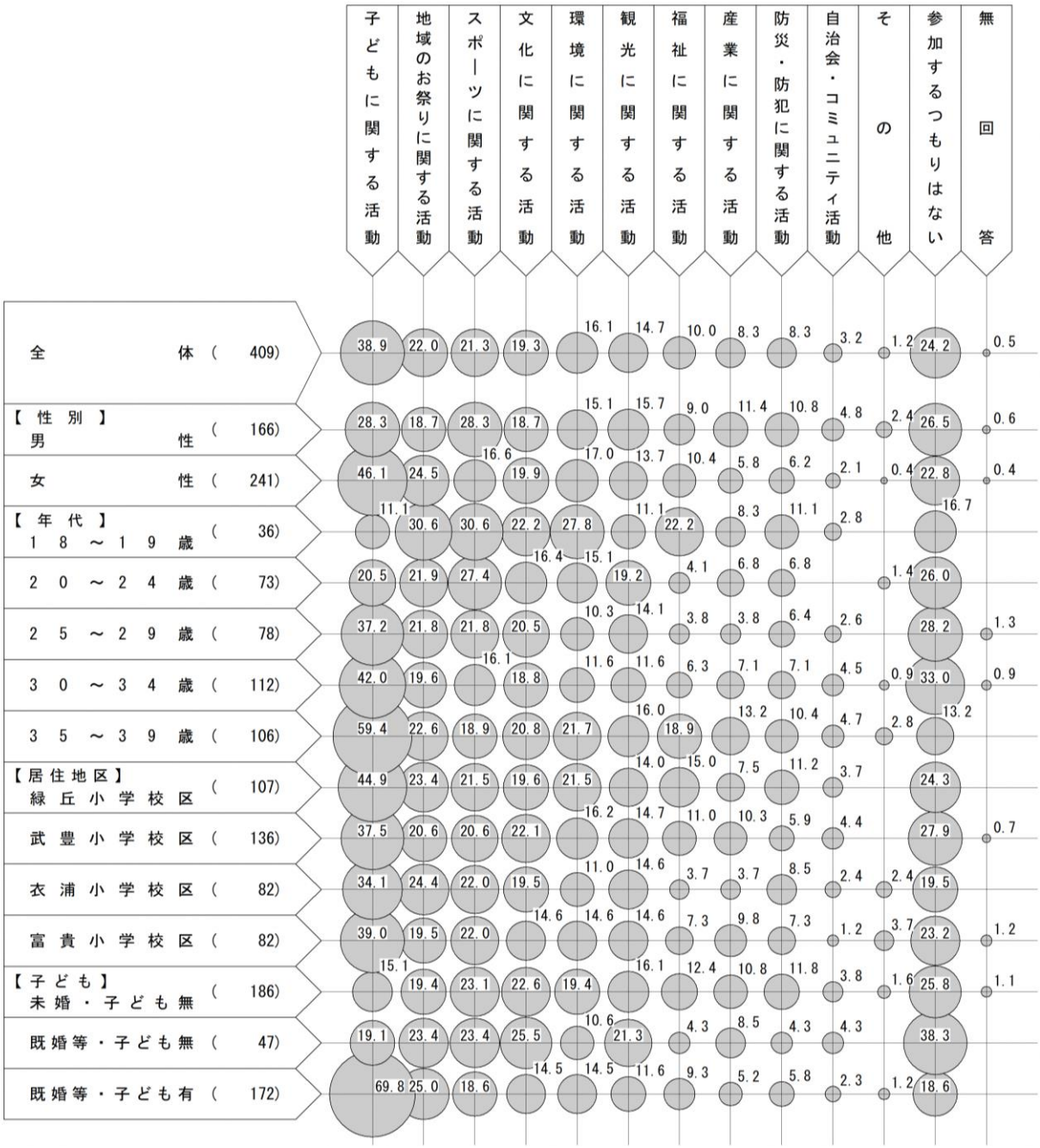
図表 3-4-3　参加してみたい活動（過去調査との比較）　-複数回答（該当するものすべて）-



以下、回答者の属性別に、参加してみたい活動をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男性では、「スポーツに関する活動」は 28.3%で、「子どもに関する活動」とともに最も高くなっています。女性と比べて 11.7 ポイント高くなっています。<br>○女性では、「子どもに関する活動」が 46.1%で最も高く、男性よりも 17.8 ポイントも高くなっています。このほか、「地域のお祭りに関する活動」も女性の方が高くなっています。 |
| 年代 | ○18～19 歳では、「地域のお祭りに関する活動」と「スポーツに関する活動」がともに 30.6%で最も高くなっています。<br>○20～24 歳では、「スポーツに関する活動」が 27.4%で最も高くなっています。<br>○25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳と年代が上がるにつれて、「子どもに関する活動」は高くなっており、35～39 歳では 59.4%と高い割合を示すようになっています。<br>○「参加するつもりはない」は 30～34 歳までは、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられますが、35～39 歳になると大きく低下しています。<br>○35～39 歳では、「環境に関する活動」が 21.7%、「福祉に関する活動」が 18.9%で、活動の対象が多様化する傾向がみられます。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では、「子どもに関する活動」が 44.9%で全体の 38.9%よりも 6.0 ポイント高くなっています。また、「環境に関する活動」、「福祉に関する活動」が他の地区と比べ高くなっています。<br>○そのほかの地区では、居住地区の違いによる顕著な差異はみられません。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども無では、「参加するつもりはない」が 38.3%で最も高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「子どもに関する活動」が 69.8%と非常に高い割合を示しています。 |

図表 3-4-4　属性別、参加したい活動　-複数回答複数回答（該当するものすべて）-



## ３－５　子ども・子育てについて

### （１）子育てのイメージ

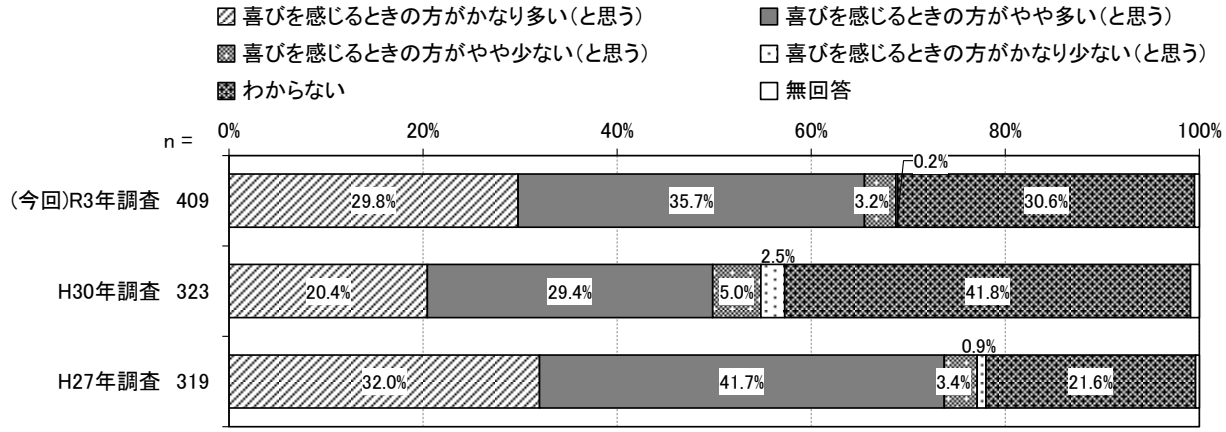
問８　あなたは、「子育て」をどのように感じていますか。（１つに○印）

子育てについて「喜びを感じるときの方がかなり多い（と思う）」が 29.8%、「喜びを感じるときの方がやや多い（と思う）」が 35.7%で、この両者をあわせた『喜びを感じるときの方が多い』は 65.5%となっています。「喜びを感じるときの方がやや少ない（と思う）」は 3.2%、「喜びを感じるときの方がかなり少ない（と思う）」は 0.2%とかなり少数となっています。

平成 30 年調査では、「喜びを感じるときの方がかなり多い」が 20.4%、「喜びを感じるときの方がやや多い」が 29.4%で、この両者をあわせた『喜びを感じるときの方が多い』は 49.8%でした。平成 30 年との比較では 15.7 ポイント高くなっています。

平成 27 年調査では、『喜びを感じるときの方が多い』は 73.7%でした。平成 27 年との比較では 8.2 ポイントの低下となっています。

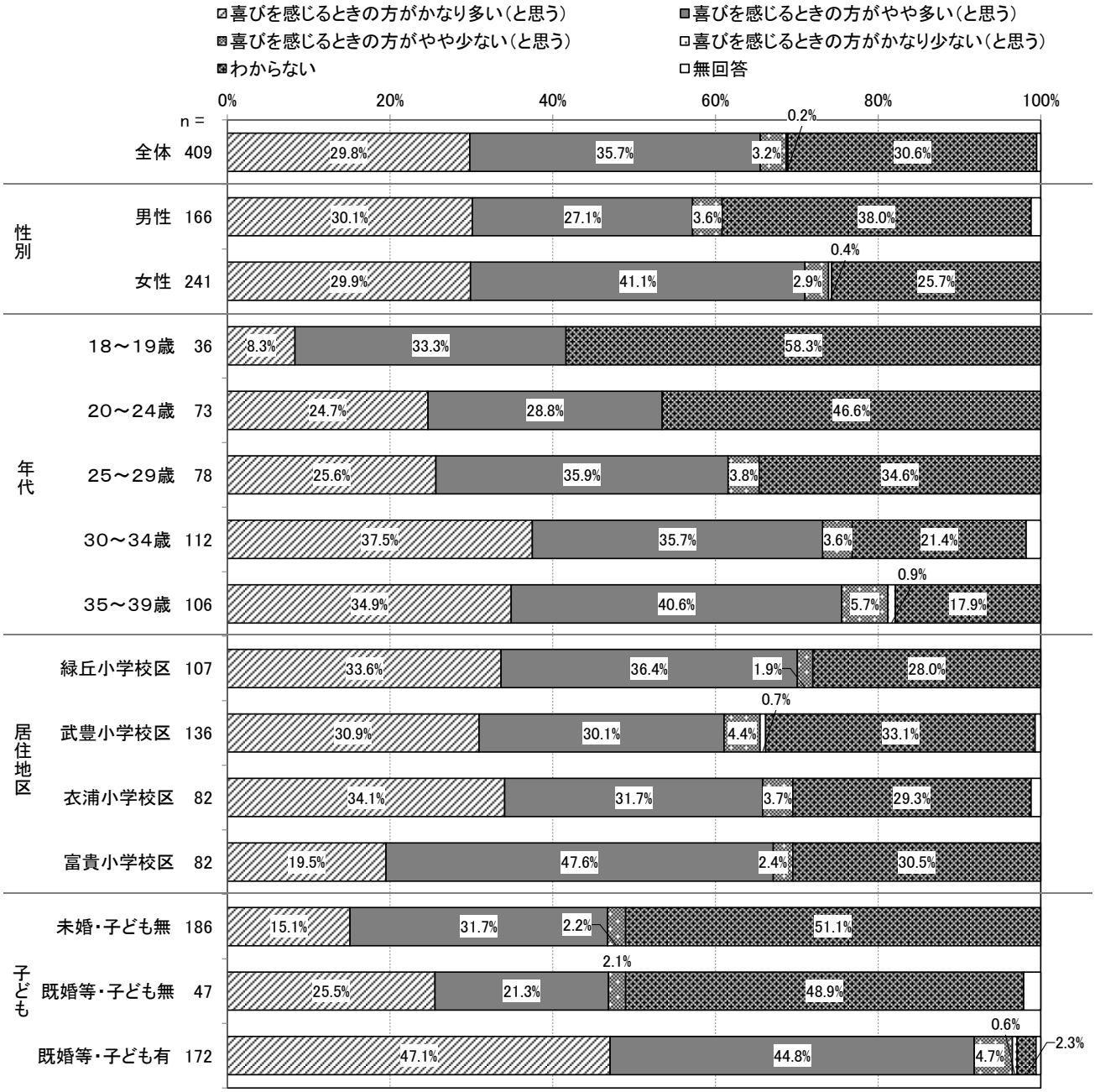
図表 3-5-1　子育てのイメージ（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に、子育てのイメージをみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「喜びを感じるときの方がかなり多い」は男性が 30.1%、女性が 29.9%で大きな差異はみられません。しかし、「喜びを感じるときの方がやや多い」については、男性は 27.1%、女性は 41.1%で、女性の方が 14.0 ポイント上回っています。また、男性では「わからない」が 38.0%とやや高くなっています。<br>○その結果、『喜びを感じるときの方が多い』は、男性が 57.2%、女性が 71.0%と両者で開きがみられます。 |
| 年代 | ○『喜びを感じるときの方が多い』は、年代が高くなるにつれて高くなる傾向が明確で、35～39 歳では 75.5%と高い値を示しています。<br>○年代が若いほど「わからない」と回答しており、18～19 歳では、「わからない」は 58.3%と半数を超えています。 |
| 居住地区 | ○『喜びを感じるときの方が多い』は、緑丘小学校が 70.0%と相対的に高くなっており、全体の 65.5%を 4.5 ポイント上回っています。<br>○武豊小学校区では、『喜びを感じるときの方が多い』は 61.0%で、居住地区の中では最も低くなっています。<br>○富貴小学校区では、『喜びを感じるときの方が多い』は 67.1%で全体と比べればやや高くなっていますが、「喜びを感じるときの方がかなり多い」は 19.5%と、居住地区の中では最も低くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無、既婚等・子ども無では、『喜びを感じるときの方が多い』がともに 46.8%となっています。また、「わからない」がそれぞれ 51.1%、48.9%と半数程度を占めています。<br>○既婚・子ども有では、「喜びを感じるときの方がかなり多い」が 47.1%、「喜びを感じるときの方がやや多い」が 44.8%といずれも非常に高くなっており、『喜びを感じるときの方が多い』は 91.9%と９割以上となっています。子どもの有無により顕著な差異がみられます。 |

## 図表 3-5-2　属性別、子育てのイメージ



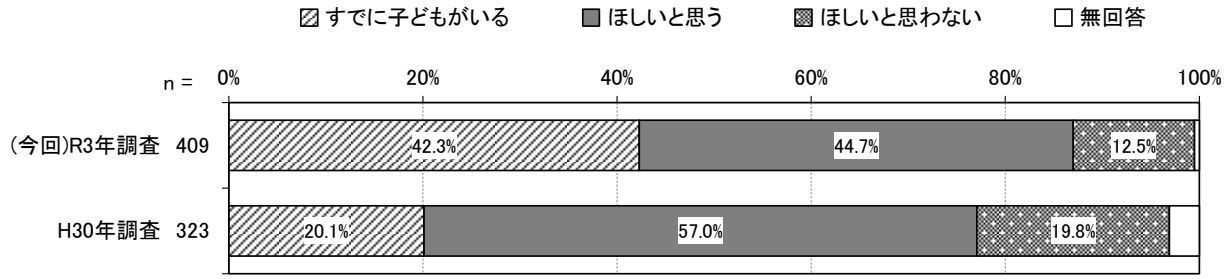
## （2）子どもがほしいのか

問９　あなたは、子どもがほしいですか。（１つに○印）

子どもがほしいかとの問いに対して、「すでに子どもがいる」は 42.3%、「ほしいと思う」は 44.7%、「ほしいと思わない」は 12.5%で、子どもがほしいと考えている人が多くなっています。

平成 30 年調査では、「すでに子どもがいる」は 20.1%、「ほしいと思う」は 57.0%、「ほしいと思わない」は 19.8%でした。

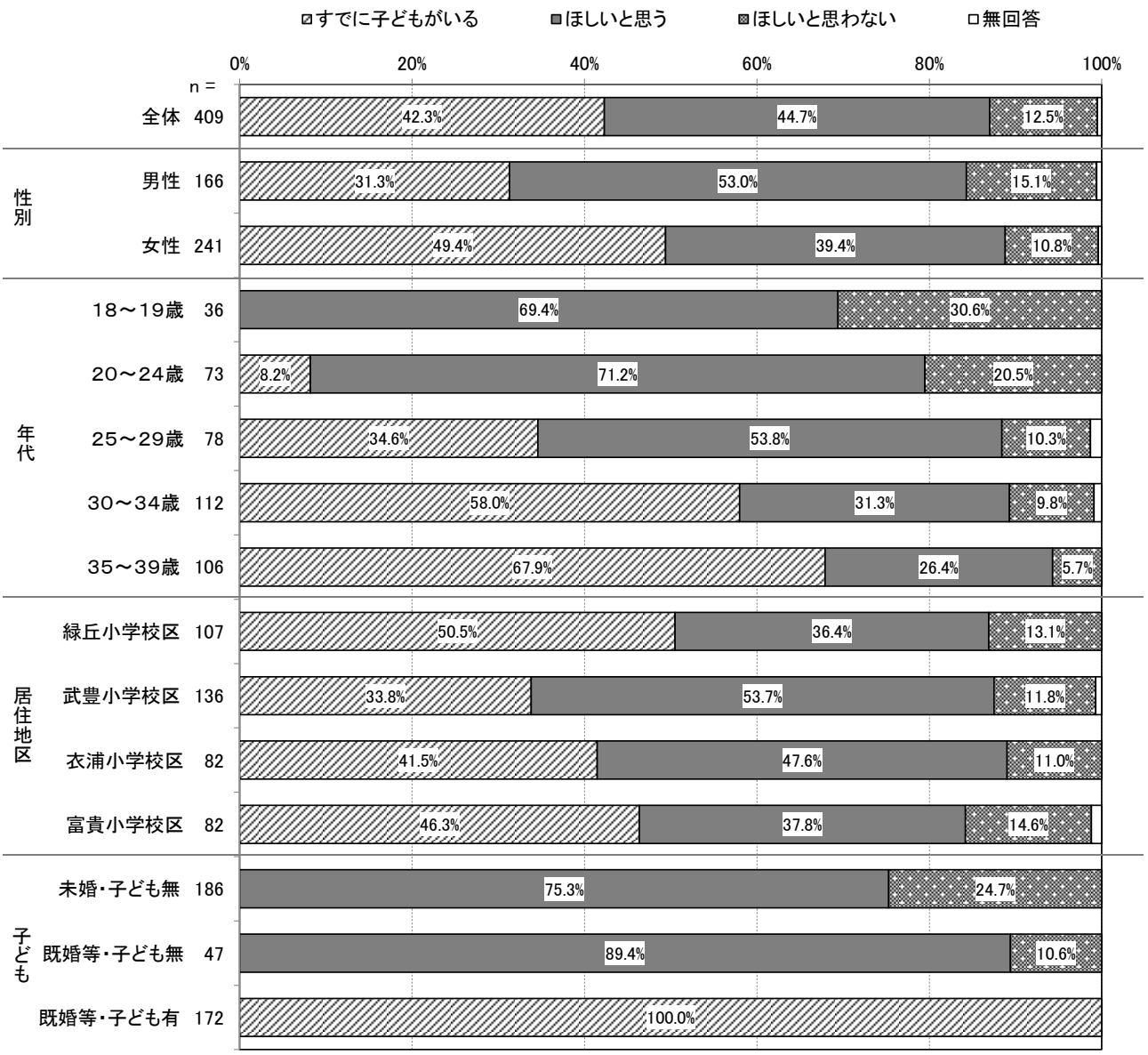
図表 3-5-3　子どもがほしいのか（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に、子どもがほしいかについてみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「すでに子どもがいる」は、男性は 31.3%、女性は 49.4%です。女性の方が 18.1 ポイント高くなっています。<br>○「ほしいと思う」は男性が 53.0%、女性が 39.4%です。「すでに子どもがいる」と「ほしいと思う」をあわせた割合をみると、男性は 84.3%、女性は 88.8%となり、両者で大きな差異はみられません。<br>○「ほしいと思わない」では、男性が 15.1%、女性が 10.8%と、やや男性の方が高くなっています。 |
| 年代 | ○年代が上がるにつれて「すでに子どもがいる」の割合が高くなっています。30～34 歳、35～39 歳になると半数以上の方が「すでに子どもがいる」と回答しています。<br>○「すでに子どもがいる」と「ほしいと思う」をあわせた割合を順にみていくと、18～19 歳では 69.4%、20～24 歳では 79.4%、25～29 歳では 88.4%、30～34 歳では 89.3%、35～39 歳では 94.3%と、年代の上昇とともに割合が高くなっています。<br>○逆に、「ほしいと思わない」は年代が上がるにつれて低下しています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では「すでに子どもがいる」が 50.5%で他の地区に比べて高くなっています。<br>○「すでに子どもがいる」と「ほしいと思う」をあわせた割合は、緑丘小学校区が 86.9%、武豊小学校区が 87.5%、衣浦小学校区が 89.1%、富貴小学校区が 84.1%です。富貴小学校区でやや低いものの、居住地区の違いによる顕著な差異はみられません。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無、既婚等・子ども無では、「ほしいと思う」がそれぞれ 75.3%、89.4%と高い割合を示しています。 |

図表 3-5-4　属性別、子どもがほしいか



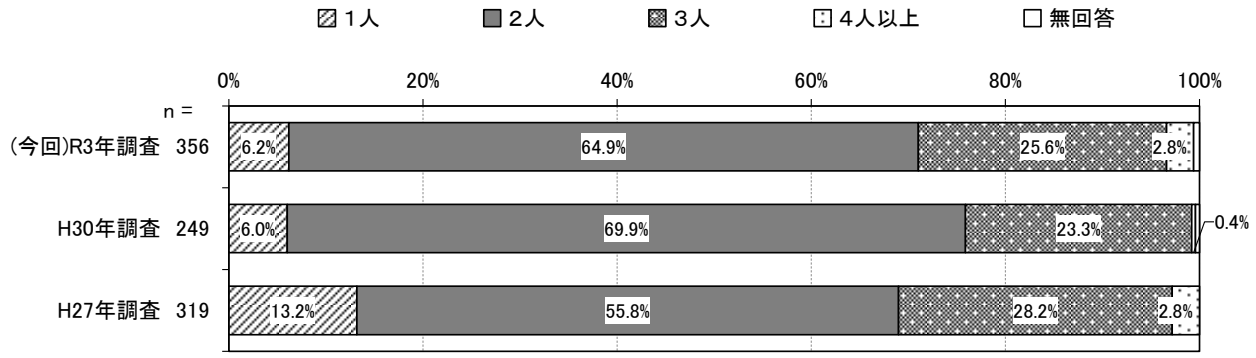
## （3）理想の子どもの人数

問 10　「理想の子どもの人数」は何人ですか。（1 つに○印）

前問で「すでに子どもがいる」または「ほしいと思う」と回答した 356 名を対象に、理想の子どもの人数をたずねたところ、「２人」が 64.9%で最も多くなっています。次いで「３人」が 25.6%、「１人」が 6.2%、「４人以上」が 2.8%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「２人」は 5.0 ポイント低下し、逆に「３人」が 2.3 ポイント増加しています。

図表 3-5-5　理想の子どもの人数（過去調査との比較）

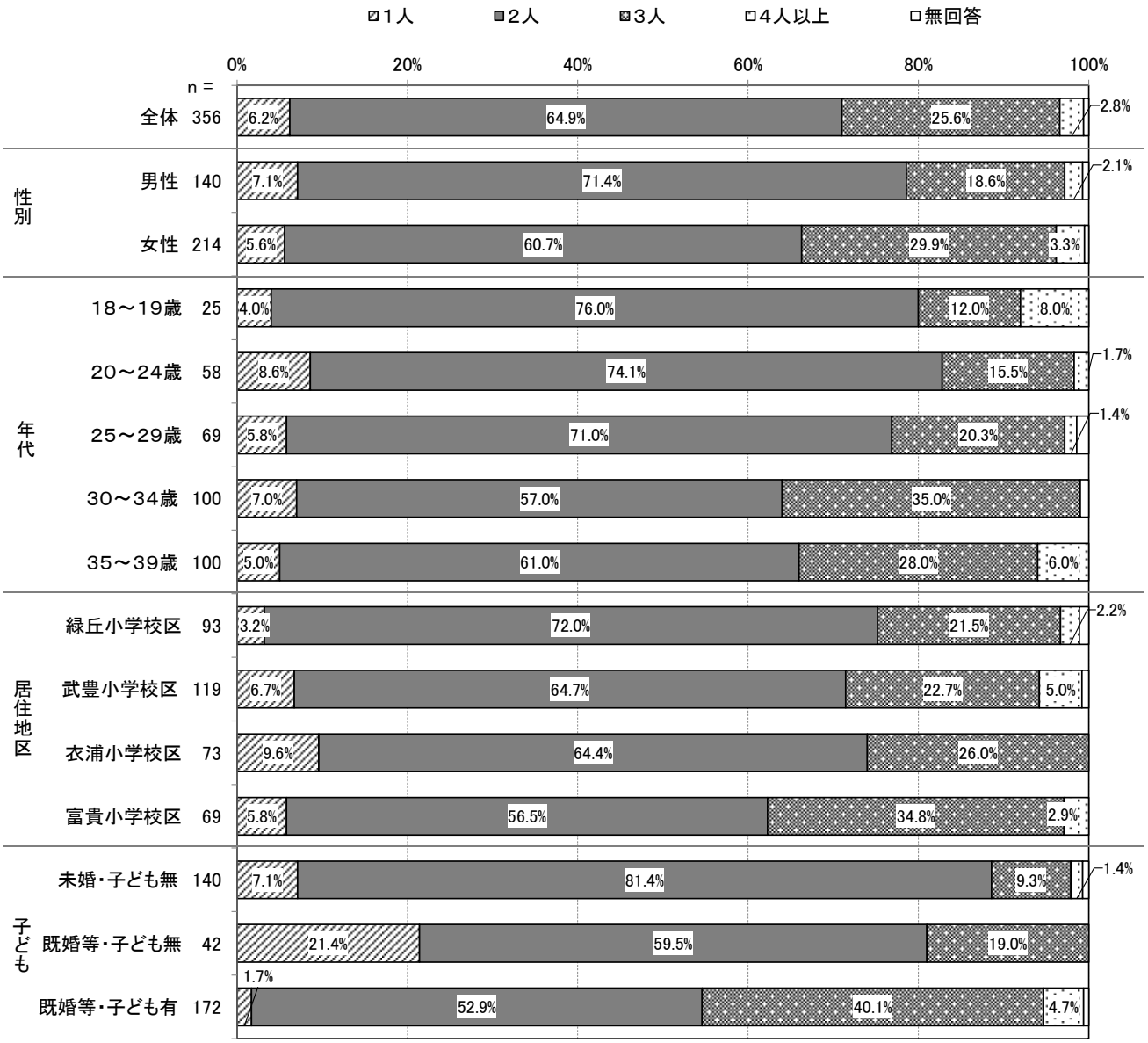



※平成 27 年調査では回答者全員を対象として集計しているため、今回の比較対象とはしていません。
「０人」も「１人」の中に含めて集計されています。

以下、回答者の属性別に、理想の子どもの人数をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「３人」は男性が 18.6%、女性が 29.9%であり、女性の方が「３人」を理想の子ども数と考える割合が高くなっています。 |
| 年代 | ○いずれの年代でも、「２人」が最も高くなっていますが、30～34 歳、35～39 歳になると、「３人」がそれぞれ 35.0%、28.0%と高くなっています。 |
| 居住地区 | ○衣浦小学校区では、「１人」が 9.6%で、他の地区と比べて高くなっています。<br>○富貴小学校区では「３人」が 34.8%で、他の地区と比べて高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では、「２人」が 81.4%で、８割以上の高い割合を示しています。<br>○既婚等・子ども無では、「１人」が 21.4%となっており、他と比べて高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「３人」が 40.1%と、他と比べて高くなっています。 |

## 図表 3-5-6　属性別、理想の子どもの人数



## （４）現在の子どもの人数

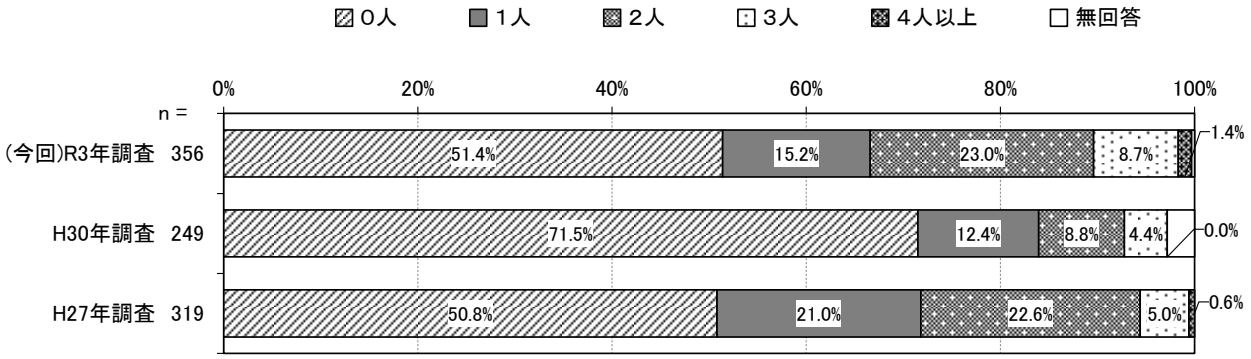
| |
|---|
| 問１１　「現在」の子どもの人数は何人ですか。また、何歳ですか。（１つに○印） |

問９で「すでに子どもがいる」または「ほしいと思う」と回答した 356 名を対象に、現在の子どもの人数をたずねたところ、「０人」が 51.4%で最も多くなっています。次いで「１人」が 15.2%、「２人」が 23.0%、「３人」が 8.7%、「４人以上」が 1.4%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「０人」は 20.1 ポイントの低下、「１人」が 2.8 ポイント、「２人」が 14.2 ポイント、「３人」が 4.3 ポイントの上昇となっています。

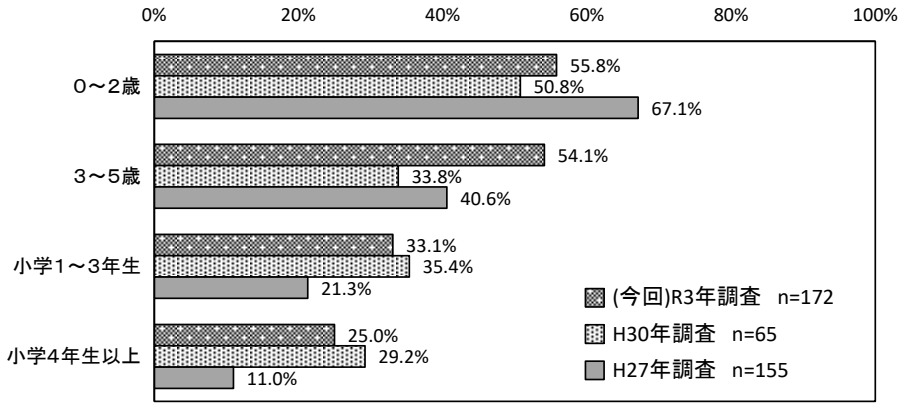
また、現在、「子どもがいる」と回答した 172 名の方の子どもの年齢については、「０～２歳」が 55.8%、「３～５歳」が 54.1%、「小学１～３年生」が 33.1%、「小学４年生以上」が 25.0%と、低年齢が多くなっています。

図表 3-5-7　現在の子どもの人数（過去調査との比較）




※平成 27 年調査では回答者全員を対象として集計しているため、今回の比較対象とはしていません。

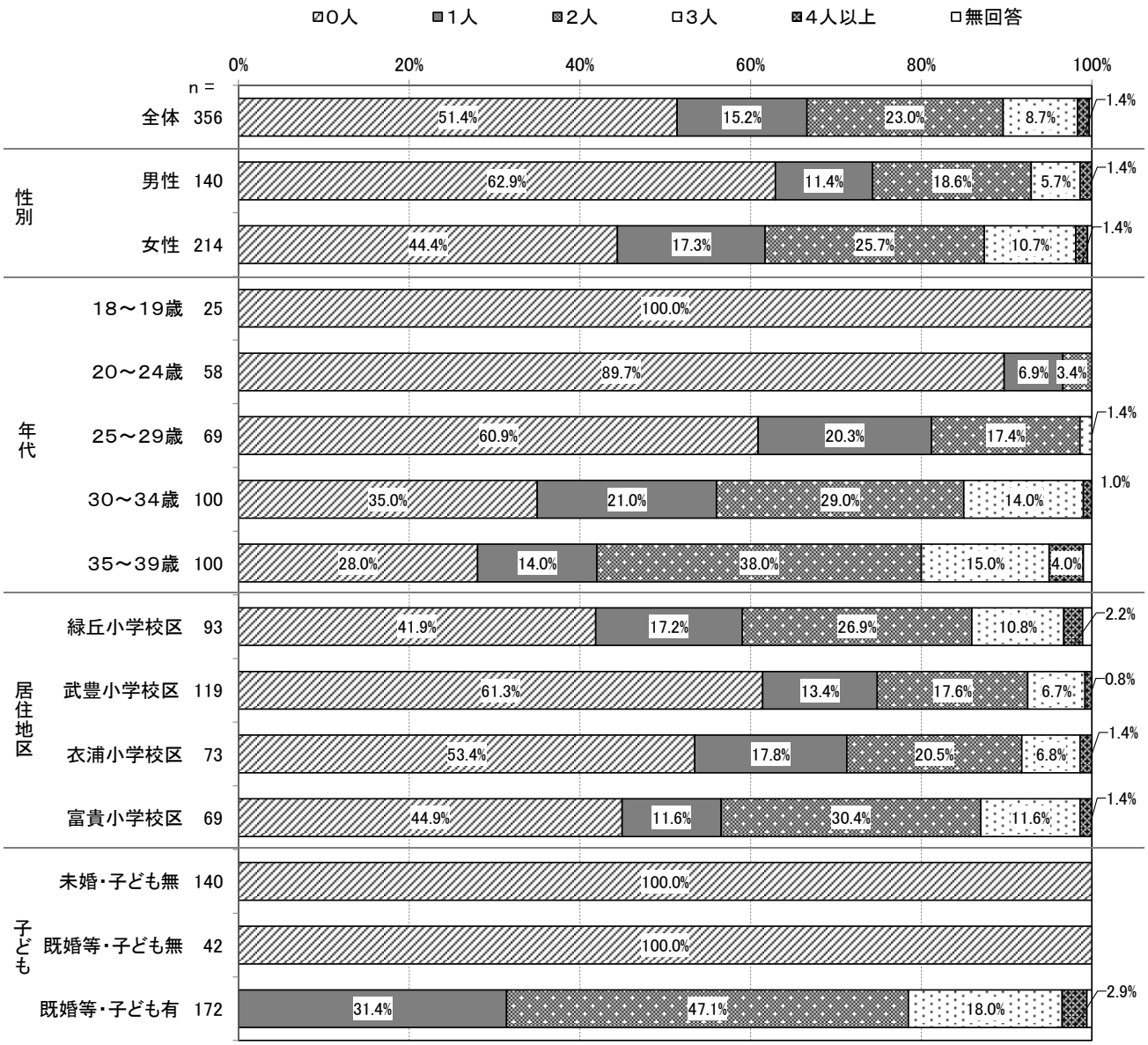
図表 3-5-8　現在の子どもの年齢（過去調査との比較）　-複数回答（該当するものすべて）-



以下、回答者の属性別に現在の子どもの人数をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「０人」は男性が 62.9%、女性が 44.4%で、男性の方が 18.5 ポイント高くなっています。逆に、「１人」、「２人」、「３人」は女性の方が高くなっています。 |
| 年代 | ○年代が高くなるにつれて「０人」の割合が低くなり、35～39 歳になると「０人」は 28.0%まで低下しています。<br>○35～39 歳では、「１人」は 14.0%、「２人」は 38.0%、「３人」は 15.0%、「４人以上」は 4.0%です。この年代では、現在の子ども数としては「２人」が最も多くなっています。 |
| 居住地区 | ○武豊小学校区では、「０人」が最も多く 61.3%を占めています。その結果、「１人」、「２人」、「３人」、「４人以上」は、他の地区と比べていずれも低くなっています。<br>○緑丘小学校区では「０人」は 41.9%で、他の地区との比較では最も低くなっています。<br>○富貴小学校区では、「２人」が 30.4%、［３人］が 11.6%で、いずれも他の地区と比べて最も高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども有でみたとき、「１人」が 31.4%、「２人」が 47.1%、「３人」が 18.0%で、「４人以上」が 2.9%となっています。「２人」が半数近くを占めています。 |

図表 3-5-9　属性別、現在の子どもの人数



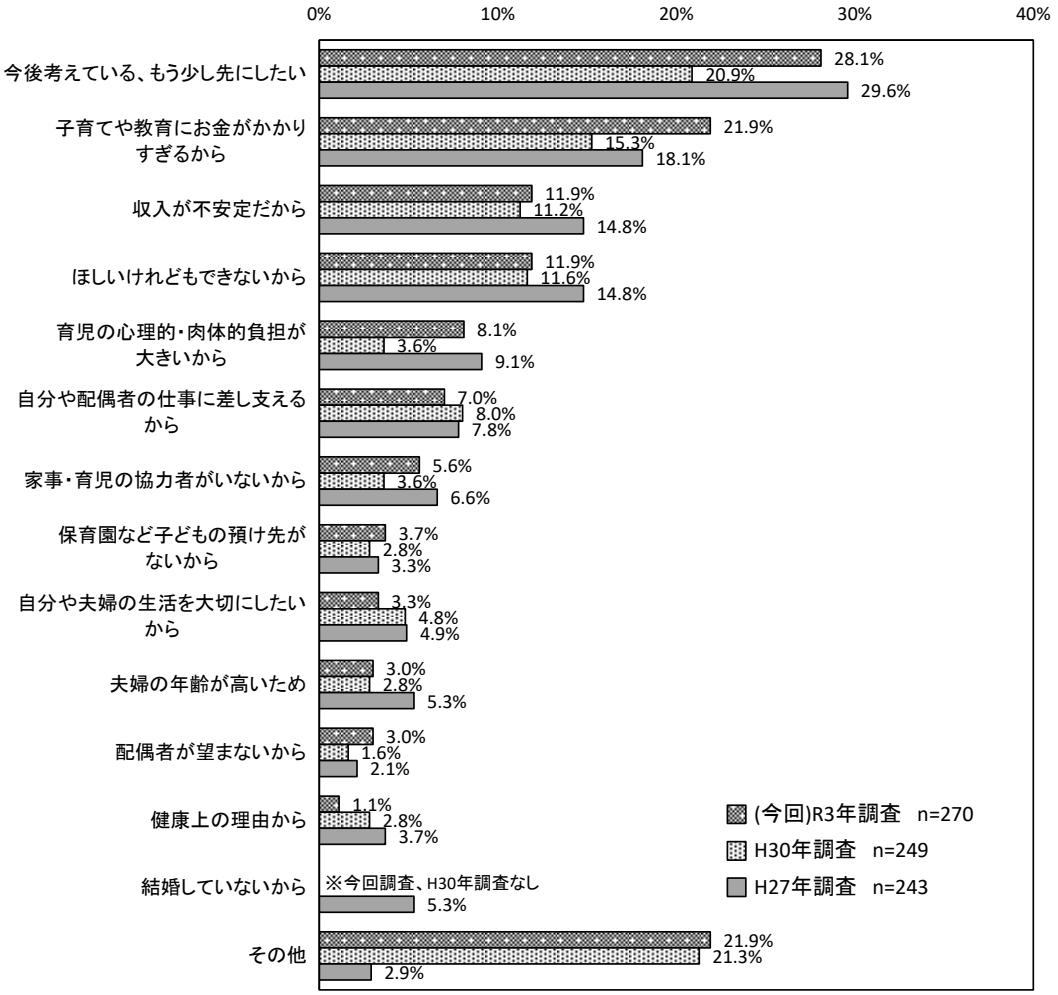
## （５）理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由

問 12　現在のお子さんの数が、理想とする数より少ないのは、どのような理由からですか。
（３つまでに○印）

問 11 の現在の子どもの人数が問 10 の理想の子どもの人数よりも少ない 270 名を対象として、子どもの数が理想とする数より少ない理由をたずねたところ、「今後考えている、もう少し先にしたい」が最も高く 28.1%となっています。次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 21.9%、「収入が不安定だから」が 11.9%、「ほしいけれどもできないから」が 11.9%と続いています。経済的な負担や不妊が理由としてあがっています。

平成 30 年調査と比較すると、「今後考えている、もう少し先にしたい」は 7.2 ポイント、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は 6.6 ポイント上昇しています。

図表 3-5-10　理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由
（過去調査との比較）　-複数回答（３つまで）-

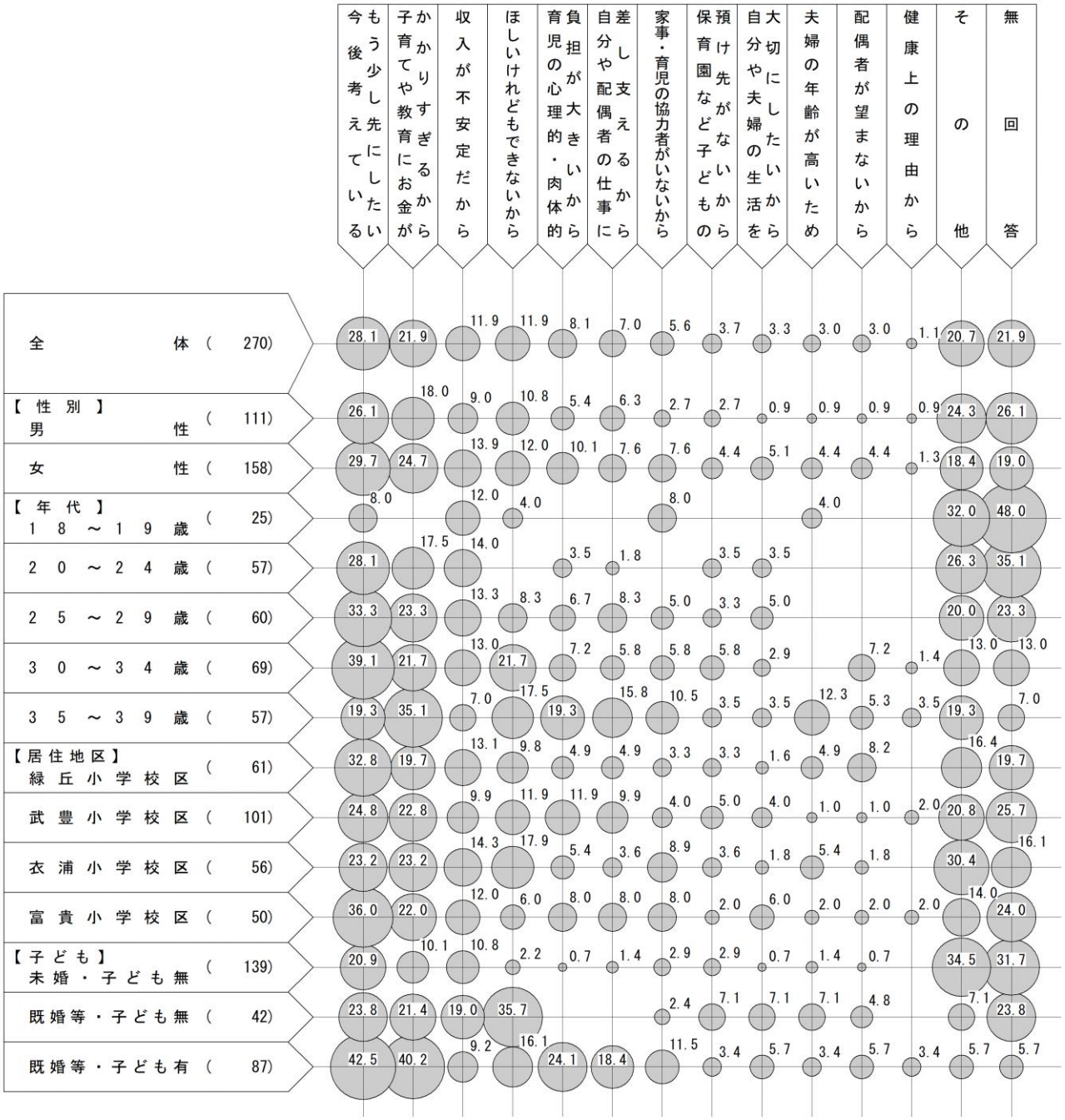


以下、回答者の属性別に、理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「その他」「無回答」を除けば、すべての項目で女性が男性より高くなっています。<br>○女性の方が高い項目のうち、4.0 ポイント以上男性を上回っているものとしては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の 6.7 ポイント、「収入が不安定だから」の 4.9 ポイント、「家事・育児の協力者がいないから」の 4.9 ポイント、「育児の心理的・肉体的負担が大きいから」の 4.7 ポイントなどがあげられます。 |
| 年代 | ○18～19 歳、20～24 歳では「無回答」が多くなっています。まだ具体的な理由があげられない状況がうかがえます。<br>○25～29 歳では、「今後考えている、もう少し先にしたい」が 33.3%で最も高くなっています。<br>○30～34 歳では、「今後考えている、もう少し先にしたい」が 39.1%と 25～29 歳よりも高い割合を示しています。また、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「ほしいけれどもできないから」がいずれも 21.7%で比較的多くなっています。<br>○35～39 歳では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 35.1%で最も高くなっています。また、「今後考えている、もう少し先にしたい」の 19.3%、「育児の心理的・肉体的負担が大きいから」の 19.3%、「ほしいけれどもできないから」の 17.5%、「自分や配偶者の仕事に差し支えるから」の 15.8%、「夫婦の年齢が高いため」の 12.3%などもやや高く、多様な理由があげられています。 |
| 居住地区 | ○衣浦小学校区では、「ほしいけれどもできないから」が 17.9%で、他の地区と比較してやや高くなっています。また、富貴小学校区では、「今後考えている、もう少し先にしたい」が 36.0%で、これも他の地区と比較してやや高くなっています。<br>○これらの点を除くと、居住地区の違いによる差異はそれほど大きなものではありません。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では、「その他」や「無回答」が相対的に高くなっています。<br>○既婚等・子ども無では「ほしいけれどもできないから」が 35.7%と高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「今後考えている、もう少し先にしたい」の 42.5%、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の 40.2%が特に高い割合を示しています。 |

図表 3-5-11　属性別、理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由

-複数回答（３つまで）-

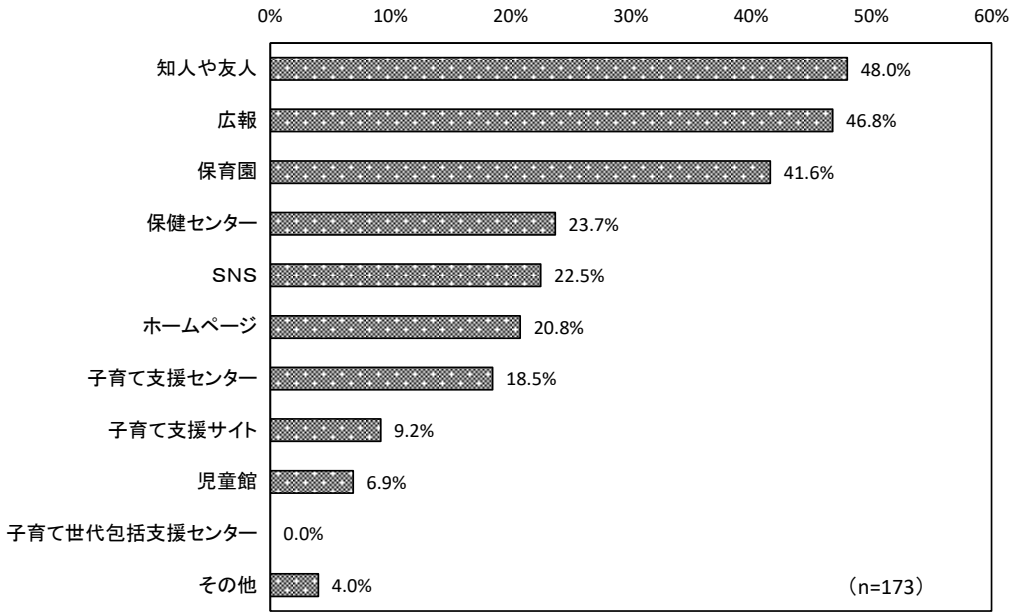


## （6）子育てに関する情報源

問 13　子育てに関する情報をどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○印）

問９で、「すでに子どもがいる」と回答した 173 名を対象に、子育てに関する情報源をたずねたところ、「知人や友人」が 48.0%で最も高くなっています。次いで、「広報」が 46.8%、「保育園」が 41.6%となっており、いずれも４割以上の割合を示しています。これら３者が主な情報源となっていることがわかります。

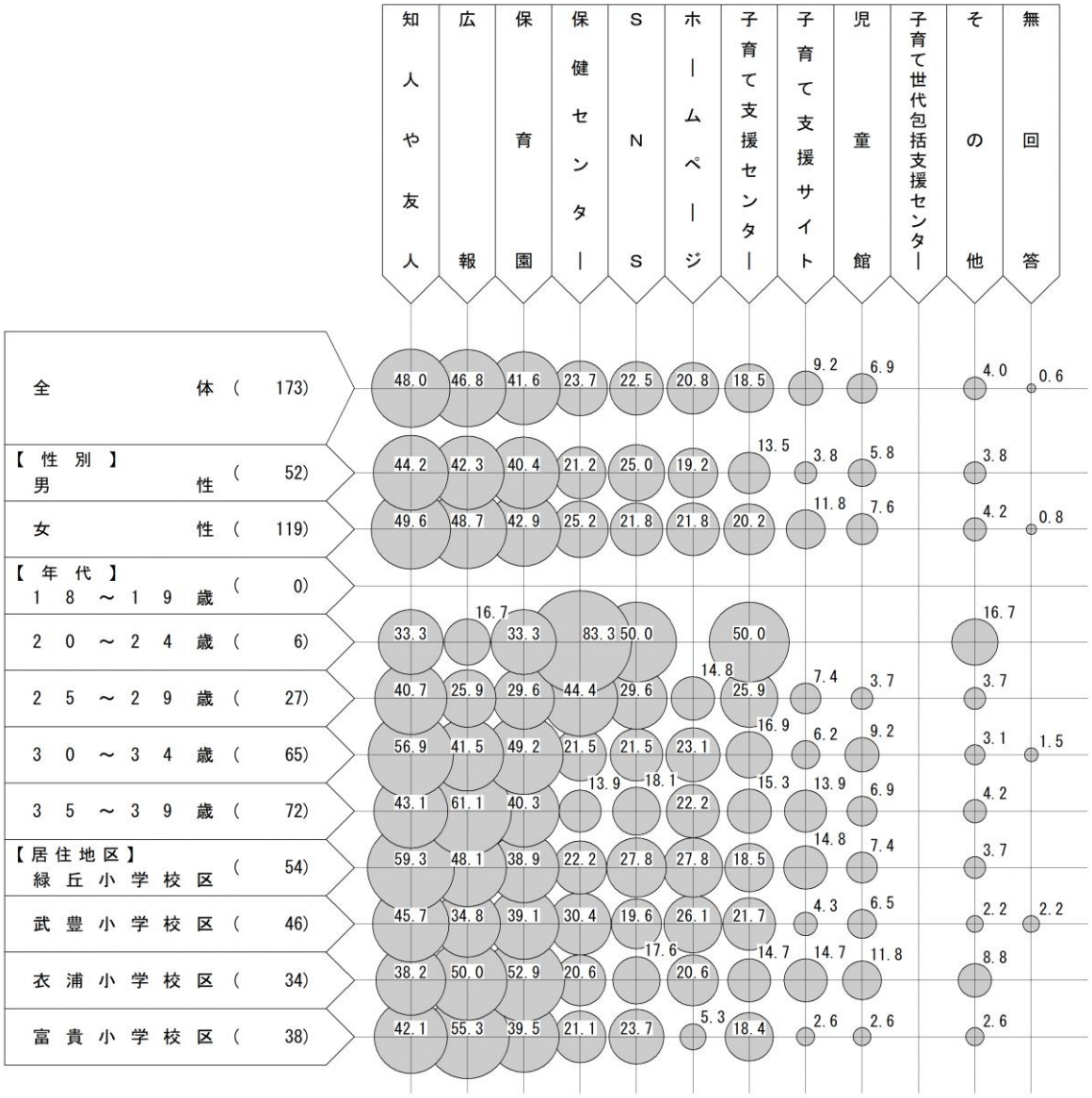
図表 3-5-12　子育てに関する情報源　-複数回答（該当するものすべて）-



以下、回答者の属性別に、子育てに関する情報源をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「知人や友人」、「広報」、「保育園」は、男性も女性も４割以上となっており、これらが主な情報源となっていることについて男女間での大きな差異はありません。<br>○男性では、「ＳＮＳ」が 25.0%で女性よりも高くなっていますが、このほかはいずれも女性の方が高くなっています。 |
| 年代 | ○25～29 歳では、「保健センター」が 44.4%と最も高くなっています。<br>○30～34 歳では、「知人や友人」が 56.9%で５割以上と高い割合を示しています。次いで「保育園」が 49.2%とこれも比較的高い割合を示しています。<br>○35～39 歳になると、「広報」が最も高くなり 61.1%と高い割合を示すようになっています。<br>○18～19 歳、20～24 歳は母数が少ないため、比較分析するには十分ではありません。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では、「知人や友人」が 59.3%で相対的に高くなっています。また、「ＳＮＳ」も 27.8%を示しており、他の地区と比べ高くなっています。<br>○武豊小学校区でも、「知人や友人」、「広報」、「保育園」が主な情報源となっていますが、「保健センター」も 30.4%と相対的に高くなっています。<br>○衣浦小学校区では、「保育園」と「広報」の割合がやや高くなっています。<br>○富貴小学校区では、「広報」が 55.3%で、他地区と比較して高くなっています。 |

図表 3-5-13　属性別、子育てに関する情報源　-複数回答（該当するものすべて）-



### （7）子育てする上での支援策等【自由意見】

| |
|---|
| 問 14　子育てをする上で、どのようなことに参加してみたいですか、また、どのような支援策を充実してほしいと思われますか。自由に記述してください。 |

問９で、「すでに子どもがいる」と回答した 173 名を対象に、子育てをする上で、どのようなことに参加してみたいか、また、どのような支援策を望むかについて自由記述方式でたずねました。

図表 3-5-14　子育てする上での支援策等

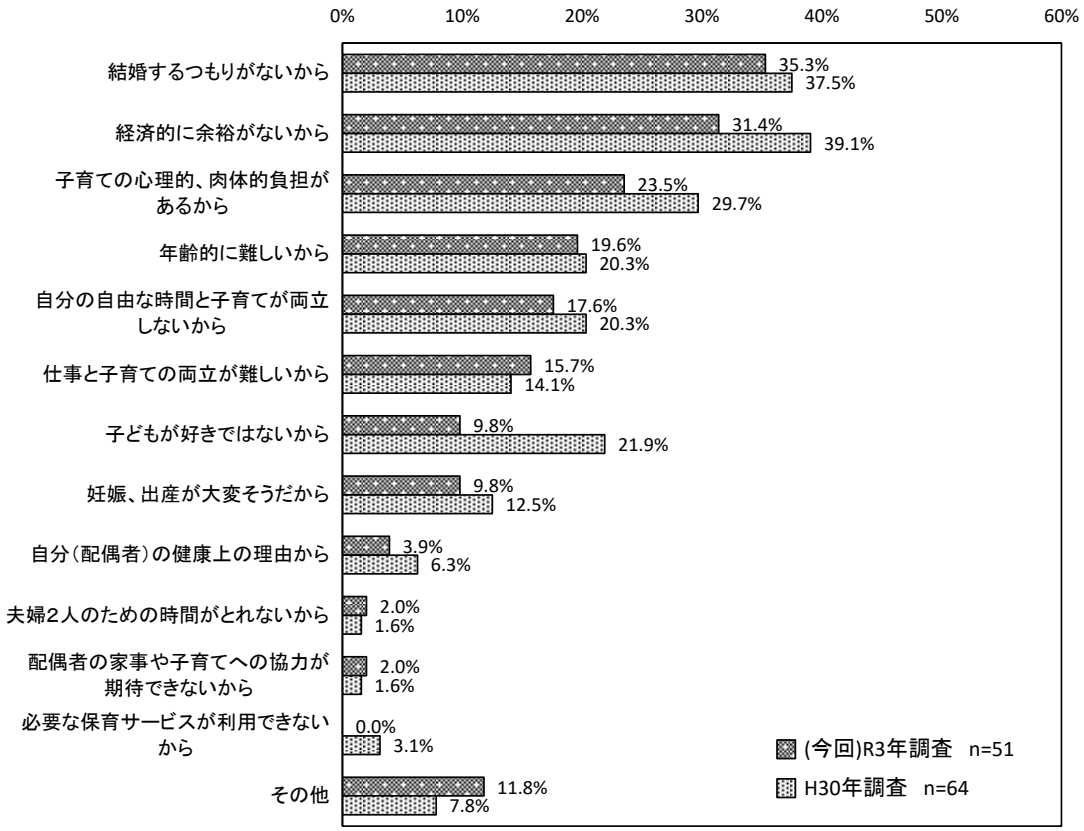
| 区分 | 意見数(件) |
|---|---|
| 参加してみたいこと | 31 件 |
| 充実して欲しい支援 | 81 件 |
| その他 | 3 件 |
| 計　（回答者数：94 名） | 114 件 |

## （8）子どもをほしいとは思わない理由

問 15　子どもをほしいとは思わない理由は何ですか。（３つまでに○印）

問９で子どもを「ほしいと思わない」と回答した 51 名を対象に、その理由をたずねました。子どもをほしいと思わない理由としては、「結婚するつもりがないから」が 35.3%で最も高くなっています。これに次いで、「経済的に余裕がないから」が 31.4%、「子育ての心理的、肉体的負担があるから」が 23.5%、「年齢的に難しいから」が 19.6%、「自分の自由な時間と子育てが両立しないから」が 17.6%と続いており、結婚しないこと、金銭的な問題、子育ての負担、年齢などが子どもをほしいと思わない理由となっています。

図表 3-5-15　子どもをほしいと思わない理由（過去調査との比較）　-複数回答（３つまで）-



## （9）子どもを持ちたいと思うための条件や環境

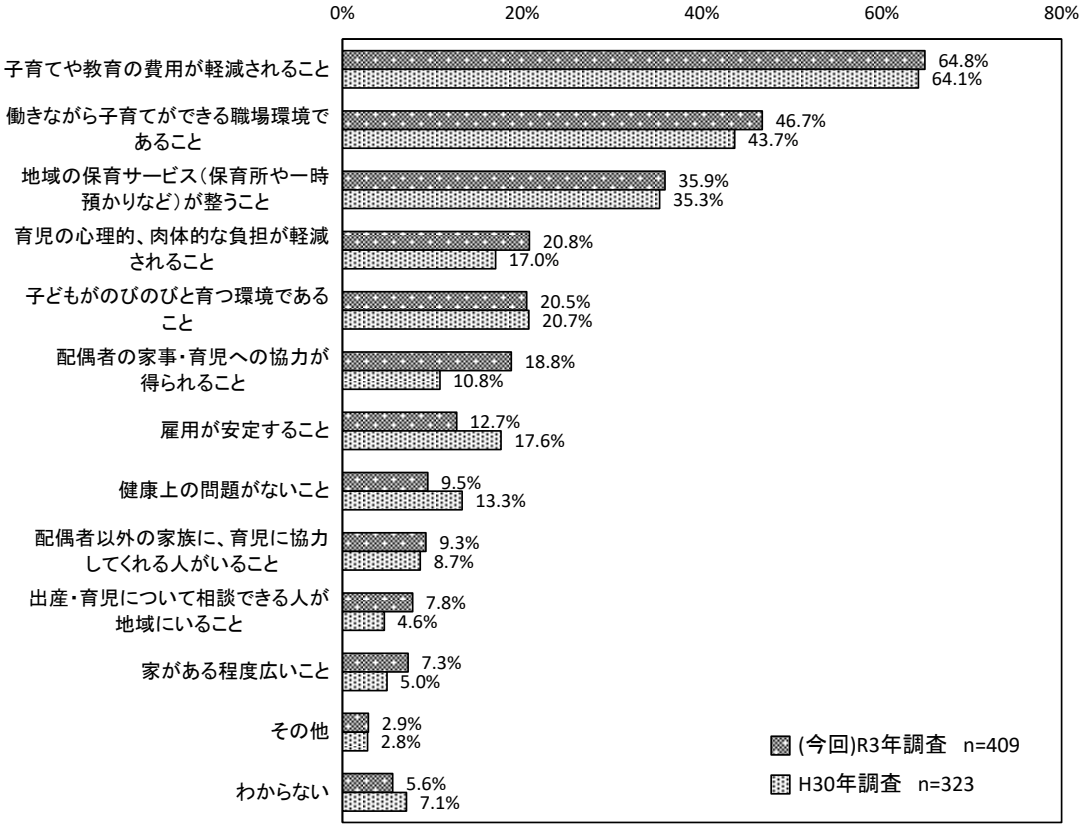
問 16　あなたが子どもを持つ、またはもっと持ちたいと思うためには、どのような条件や環境が必要ですか。（３つまでに○印）

子どもを持つ、もっと持ちたいと思うための条件・環境としては、「子育てや教育の費用が軽減されること」が 64.8%で最も高くなっています。次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が 46.7%、「地域の保育サービス（保育場や一時預かりなど）が整うこと」が 35.9%となっています。経済的負担の軽減、職場環境、地域の保育サービスが上位３つとなりました。

さらに、これらに次いで、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が 20.8%、「子どもがのびのびと育つ環境であること」が 20.5%、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」が 18.8%と続いています。

図表 3-5-16　子どもを持ちたいと思うための条件や環境（過去調査との比較）

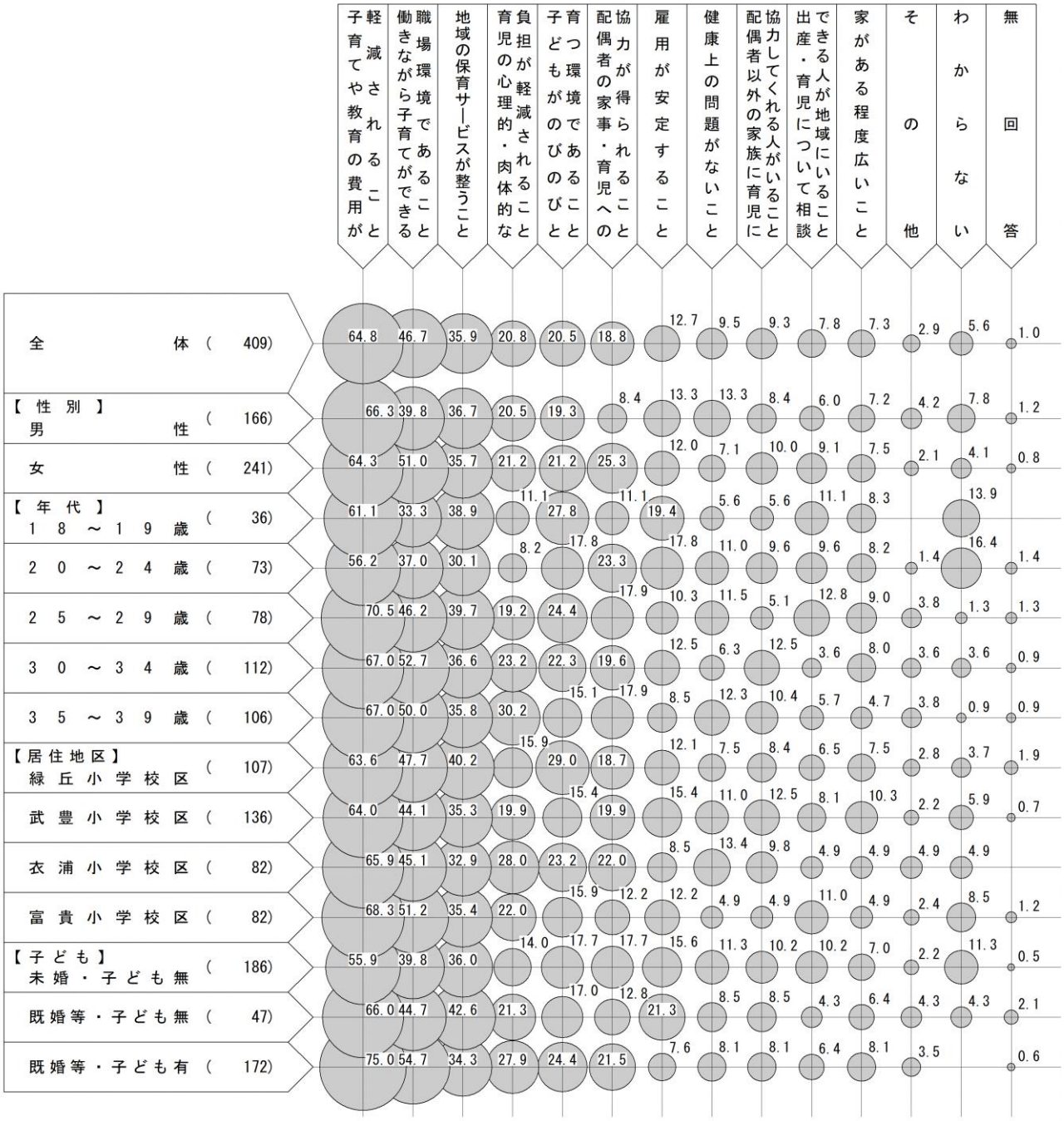
-複数回答（３つまで）-



以下、回答者の属性別に、子どもを持ちたいと思うための条件や環境をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○女性では「働きながら子育てができる職場環境であること」は 51.0%で、男性を 11.2 ポイント上回っています。また、女性では「配偶者の家事・育児への協力が得られること」は 25.3%で、男性を 16.9 ポイント上回っています。<br>○そのほかの項目では、男女間での顕著な差異はみられません。 |
| 年代 | ○いずれの年代でも、経済的負担の軽減、職場環境、地域の保育サービスが上位３つとなっている点は同様です。<br>○25～29 歳では、「子育てや教育の費用が軽減されること」が 70.5%で、全体の 64.8%を 5.7 ポイント上回っています。<br>○30～34 歳、35～39 歳になると、「働きながら子育てができる職場環境であること」がそれぞれ 52.7%、50.0%となっており、他の年代に比べて高くなっています。 |
| 居住地区 | ○いずれの居住地区でも、経済的負担の軽減、職場環境、地域の保育サービスが上位３つとなっている点は同様です。<br>○緑丘小学校区では、「子どもがのびのびと育つ環境であること」が 29.0%で、他の地区に比べてやや高くなっています。<br>○衣浦小学校区では、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が 28.0%で、これも他の地区に比べてやや高くなっています。<br>○そのほかの項目では、居住地区の違いによる顕著な差異はあまりみられません。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども無では、「地域の保育サービスが整うこと」が 42.6%、「雇用が安定すること」が 21.3%で、これらは他と比べてやや高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「子育てや教育の費用が軽減されること」が 75.0%で、他と比べて高くなっています。 |

図表 3-5-17　属性別、子どもを持ちたいと思うための条件や環境　-複数回答（３つまで）-



### （10）子育てしやすい町にするために力を入れること

問 17　武豊町を子育てしやすい町と誇れるようになるためには、今後武豊町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（３つまでに○印）

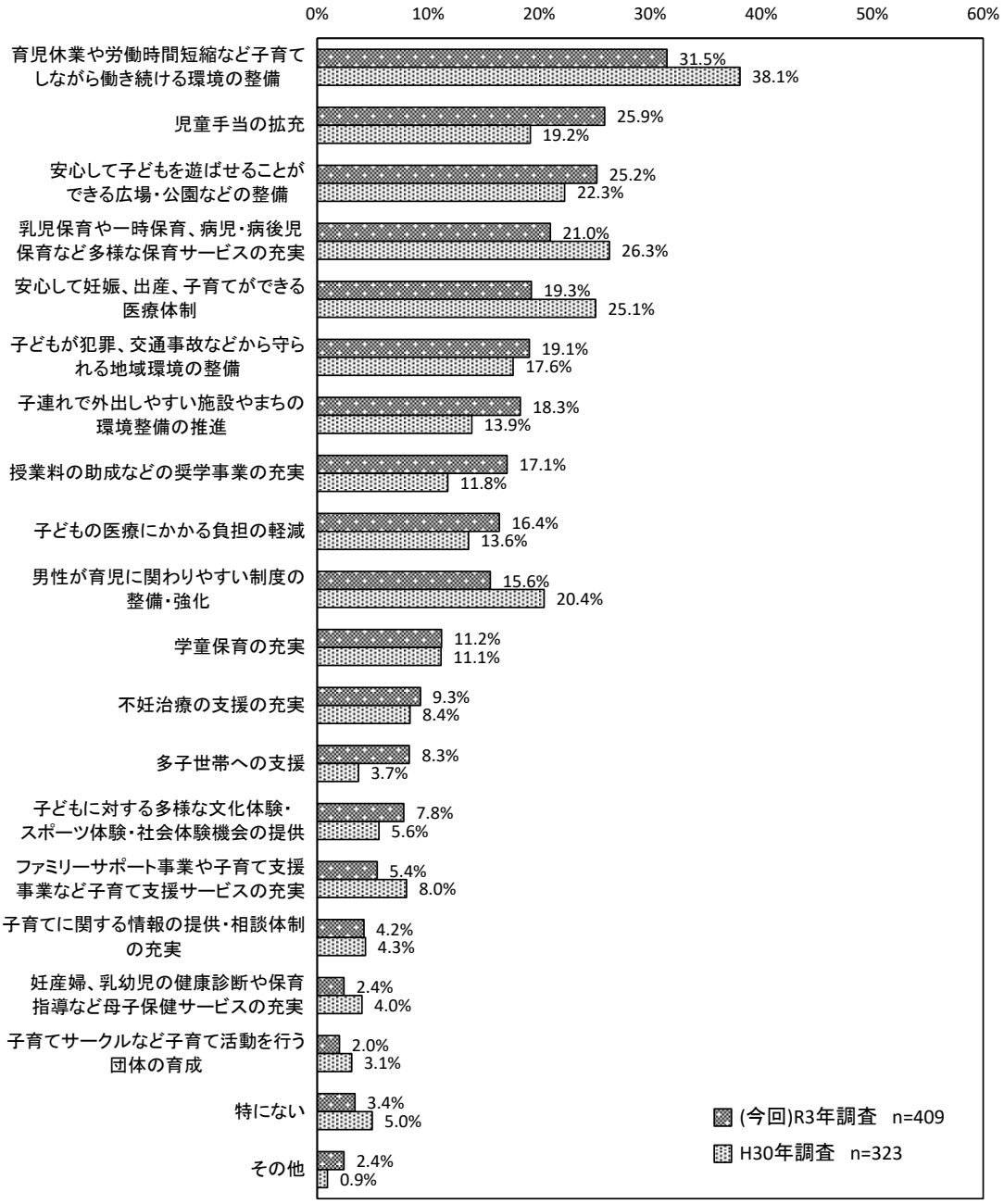
子育てしやすい町と誇れるようになるために力を入れるべきこととしては、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が 31.5%で最も高くなっています。

これに次いで、「児童手当の拡充」が 25.9%、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」が 25.2%となっています。子育てしながら働ける職場環境、経済的支援、子どもの遊び場、これら３項目が上位３つを占めました。

このほかでは、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」の 21.0%、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制」の 19.3%、「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」の 19.1%と続いており、保育サービス、医療体制、安全な地域環境などに力を入れていくことが求められています。

図表 3-5-18　属性別、子育てしやすい町にするために力を入れること

（過去調査との比較）　-複数回答（３つまで）-

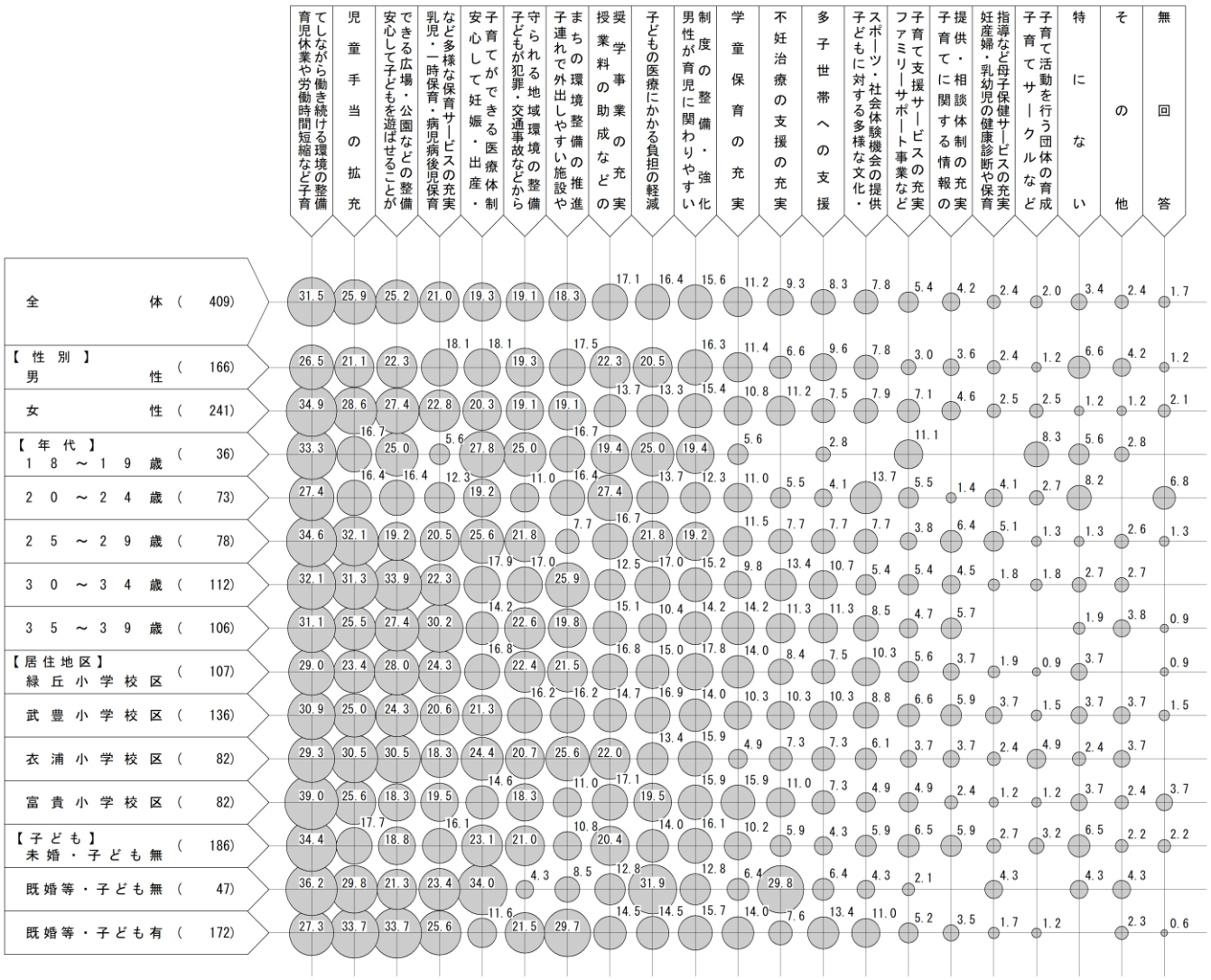


以下、回答者の属性別に、子育てしやすい町にするために力を入れることをみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○女性では、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が 34.9%で、男性に比べて 8.4 ポイント高くなっています。このほか、「児童手当の拡充」、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」についても男性よりも高くなっています。<br>○男性では、「授業料の助成などの奨学事業の充実」の 22.3%、「子どもの医療費にかかる負担の軽減」の 20.5%が女性よりも高くなっています。 |
| 年代 | ○18～19 歳では「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」の 33.3%に次いで、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制」が 27.8%で二番目に高くなっています。<br>○20～24 歳では「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」とともに、「授業料の助成などの奨学事業の充実」が 27.4%で最も高くなっています。<br>○30～34 歳では、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」が 33.9%で最も高くなっています。<br>○35～39 歳では「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」の 31.1%に次いで、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」が 30.2%で、二番目に高くなっています。 |
| 居住地区 | ○富貴小学校区では、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が 39.0%で、他の地区と比べて高くなっています。<br>○そのほかの項目では、居住地区の違いによる顕著な差異はみられません。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども無では、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制」が 34.0%、「子どもの医療に係る負担の軽減」が 31.9%、「不妊治療の支援の充実」が 29.8%となっており、妊娠、出産に関わることについて他と比べて高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「児童手当の拡充」、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」がともに 33.7%で最も高く、次いで「子連れで外出しやすい施設やまちの環境整備の推進」が 29.7%で、他と比べて高くなっています。 |

図表 3-5-19　属性別、子育てしやすい町にするために力を入れること

-複数回答（３つまで）-



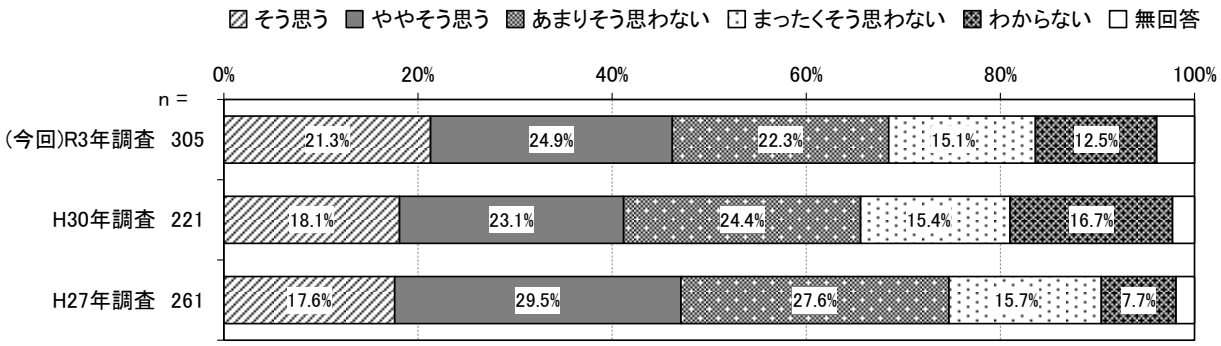
## （11）子育てをする人にとっての働きやすさ

問 18　あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思いますか。
（１つに○印）

職場が子育てをする人にとって働きやすいかどうかについては、「そう思う」が 21.3%、「ややそう思う」が 24.9%で、合わせて 46.2%が働きやすいと評価しています。一方で「あまりそう思わない」が 22.3%、「まったくそう思わない」が 15.1%で、合わせて 37.4%が働きにくいと評価しています。

平成 30 年調査と比較すると、「そう思う」が 3.2 ポイント、「ややそう思う」が 1.8 ポイントの上昇となっており、合わせて働きやすいの評価は 5.0 ポイント上昇しています。

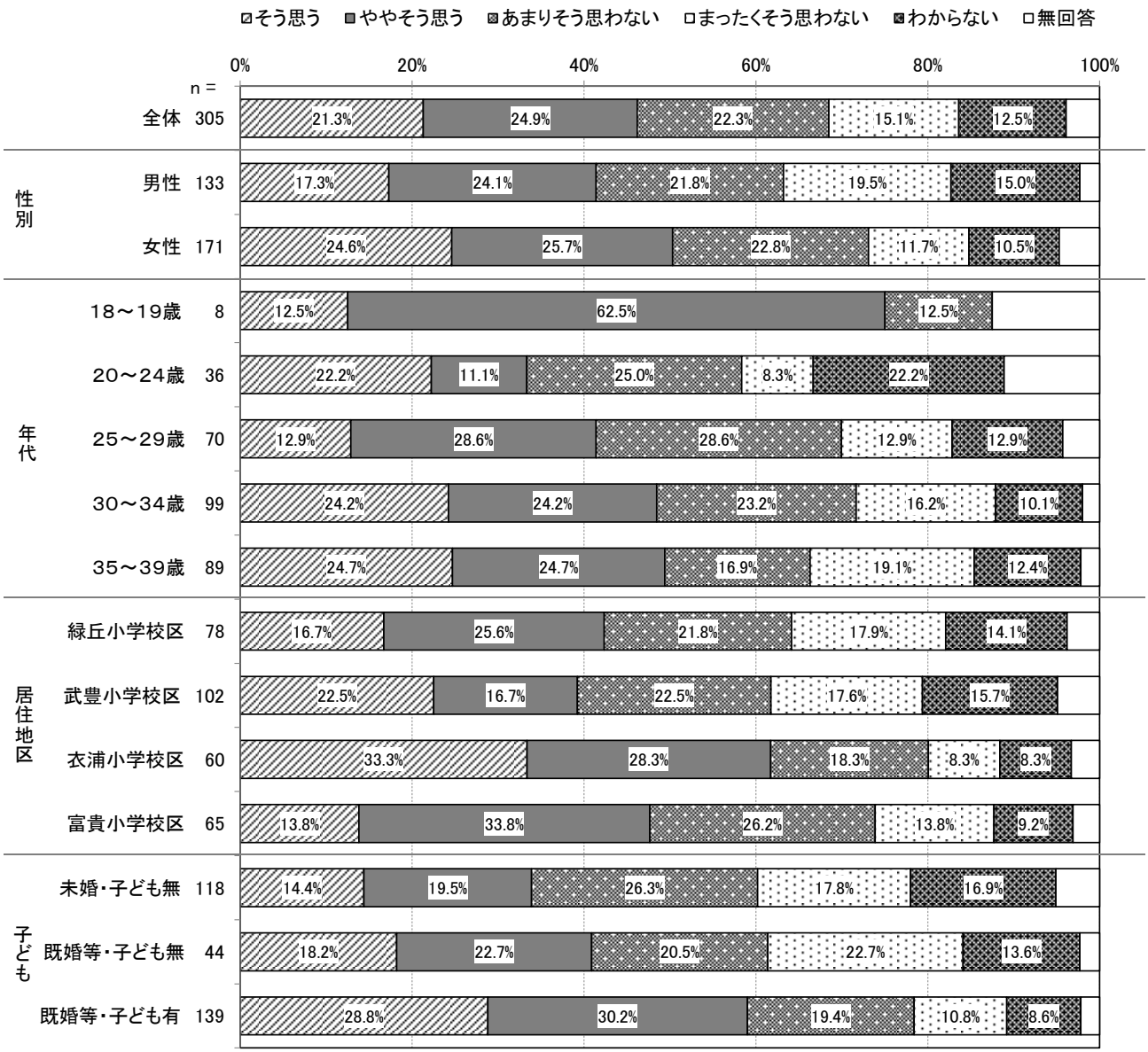
図表 3-5-20　子育てをする人にとっての働きやすさ（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に「子育てをする人にとっての働きやすさ」をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○女性では、「そう思う」が 24.6%、「ややそう思う」が 25.7%で、男性と比較すると働きやすいと感じている割合は高くなっています。 |
| 年代 | ○20～24 歳、25～29 歳では、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合は、それぞれ 33.3%、41.5%で、全体の 46.2%を下回っています。「あまりそう思わない」がともに他の年代に比べて高くなっています。<br>○30～34 歳、35～39 歳になると、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合は、それぞれ 48.4%、49.4%と半数近くにまで上昇しています。 |
| 居住地区 | ○衣浦小学校区では、「そう思う」が 33.3%と最も高く、「ややそう思う」とあわせた割合は 61.6%と非常に高い割合を示しています。<br>○緑丘小学校や武豊小学校区では、相対的に「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」の割合が高く、子育てする人にとっての働きやすさの評価は低調です。 |
| 婚姻・子ども | ○既婚等・子ども有では、「そう思う」が 28.8%、「ややそう思う」が 30.2%です。両者をあわせた割合は 59.0%と高くなっています。子どもを持っている人は今の職場を働きやすいと感じている割合が高くなっています。 |

図表 3-5-21　属性別、子育てをする人にとっての働きやすさ



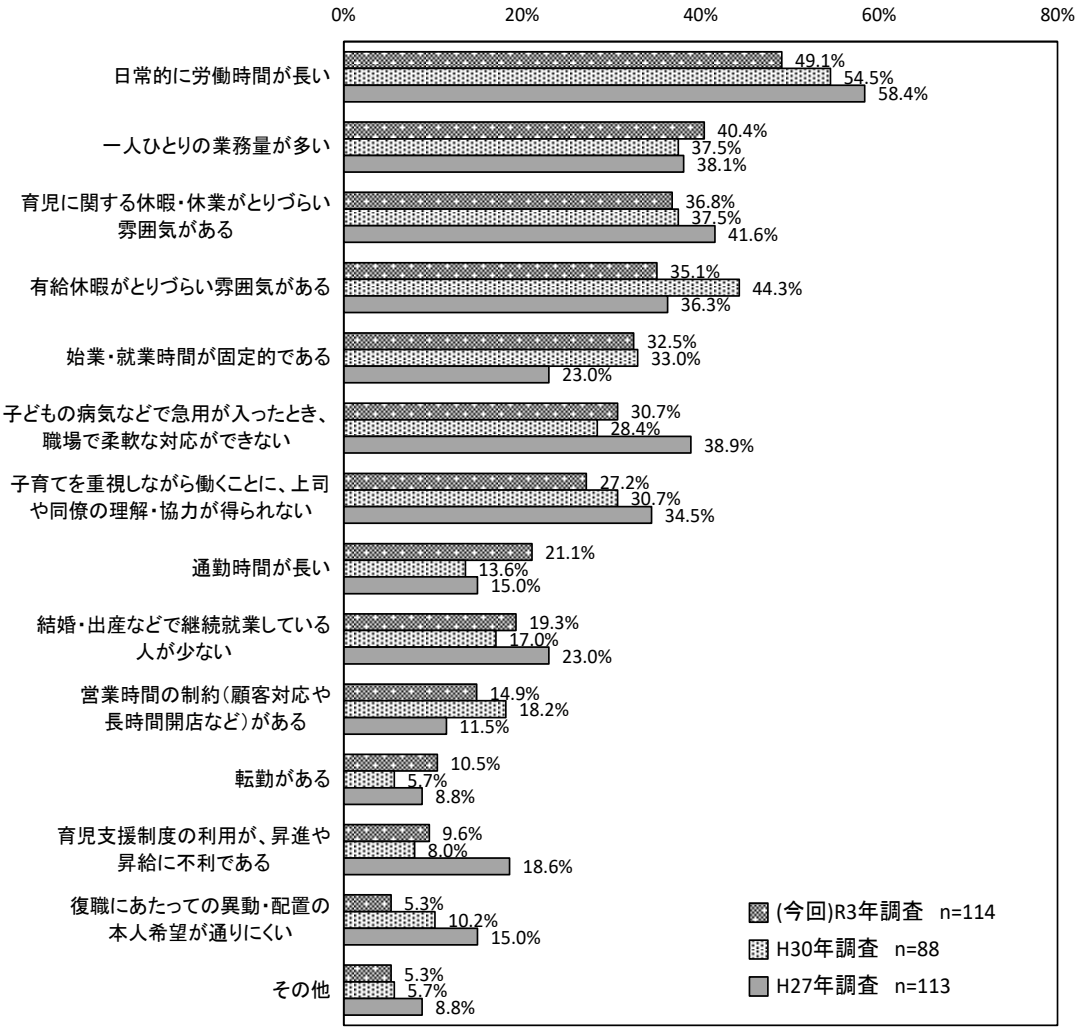
## (12) 働きやすくない原因

問 19　働きやすくないのは、何が原因だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

前問で「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」と回答した 114 名から、職場が働きやすくないと思う原因についてたずねたところ、「日常的に労働時間が長い」が 49.1%で最も高くなっています。次いで「一人ひとりの業務量が多い」が 40.4%、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」が 36.8%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」が 35.1%、「始業・就業時間が固定的である」が 32.5%、「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」が 30.7%などとなっており、長時間労働や休むことへの職場内の雰囲気などが大きく影響していることがうかがえます。

平成 30 年調査と比較すると、多くの項目でその割合は低下する傾向がありますが、「一人ひとりの業務量が多い」は 2.9 ポイント、「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」は 2.3 ポイント、「通勤時間が長い」は 7.5 ポイント、「転勤がある」は 4.8 ポイント、「育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である」は 1.6 ポイント上昇しています。

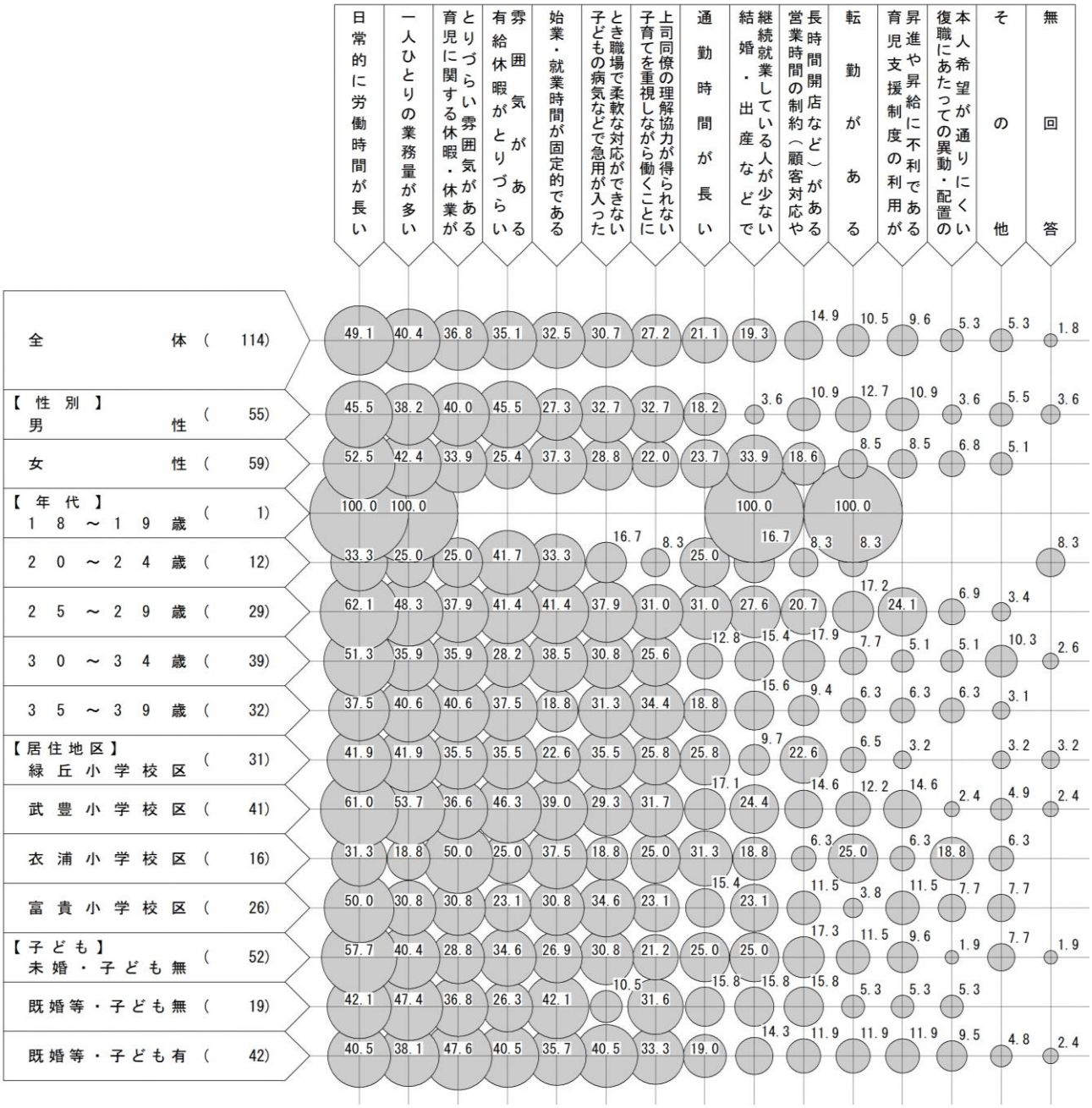
図表 3-5-22　働きやすくない原因（過去調査比較）　-複数回答（該当するものすべて）-



以下、回答者の属性別に、働きやすくない原因をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○男性では、「日常的に労働時間が長い」の 45.5%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」の 45.5%、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」の 40.0%が上位３つになっています。<br>○女性では、「日常的に労働時間が長い」の 52.5%、「一人ひとりの業務量が多い」の 42.4%、「始業・就業時間が固定的である」の 37.3%が上位３つになっています。<br>○男女間で最も顕著な差異がみられるのは、「結婚・出産などで継続就業している人が少ない」で、男性は 3.6%とごく少数であるのに対して女性は 33.9%で、女性の方が 30.3 ポイントも高くなっています。 |
| 年代 | ○25～29 歳では、「日常的に労働時間が長い」が 62.1%と６割以上の高い割合を示しています。また、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」や「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」が相対的に高い割合を示しています、<br>○35～39 歳では、「一人ひとりの業務量が多い」、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」がともに 40.6%で最も高くなっています。<br>○18～19 歳は母数が少ないため、比較分析するには十分ではありません。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では、「営業時間の制約（顧客対応や長時間開店など）がある」が 22.6%で、他の地区に比べてやや高くなっています。<br>○武豊小学校区では「日常的に労働時間が長い」が 61.0%、「一人ひとりの業務量が多い」が 53.7%で、他の地区に比べて高くなっています。<br>○衣浦小学校区では「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」が 50.0%で、他の地区に比べて高くなっています。 |
| 婚姻・子ども | ○未婚・子ども無では、「日常的に労働時間が長い」が 57.7%で、他と比べて高くなっています。<br>○既婚等・子ども無では、「一人ひとりの業務量が多い」の 47.4%や「始業・就業時間が固定的である」の 42.1%が、他と比べて高くなっています。<br>○既婚等・子ども有では、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」の 47.6%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」の 40.5%、「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」の 40.5%が他と比べて高くなっています。 |

図表 3-5-23　属性別、働きやすくない原因　-複数回答（該当するものすべて）-



## ３－６　結婚についての考え方

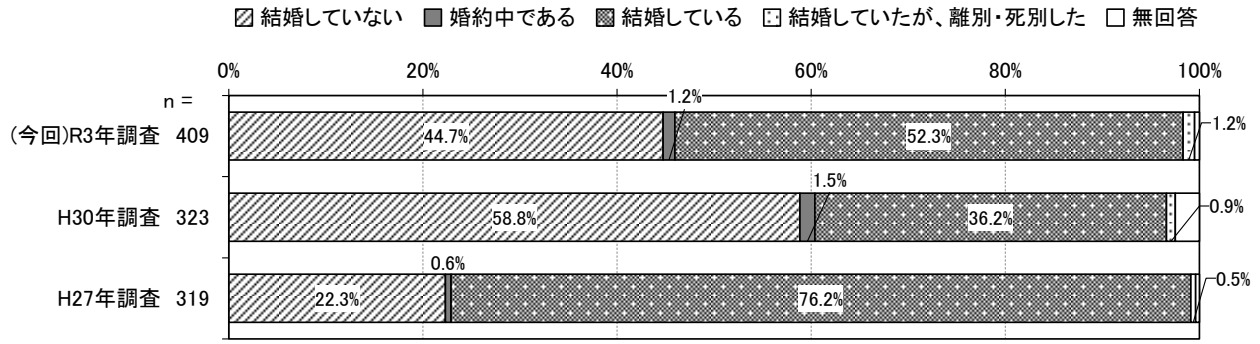
### （１）婚姻について

問 20　婚姻について、教えてください。（１つに○印）

婚姻について「結婚していない」は 44.7%、「婚約中である」は 1.2%、「結婚している」は 52.3%、「結婚していたが、離別・死別した」が 1.2%となっています。

平成 30 年調査と比較すると、「結婚していない」は 14.1 ポイント低下し、「結婚している」は 16.1 ポイント高くなっています。

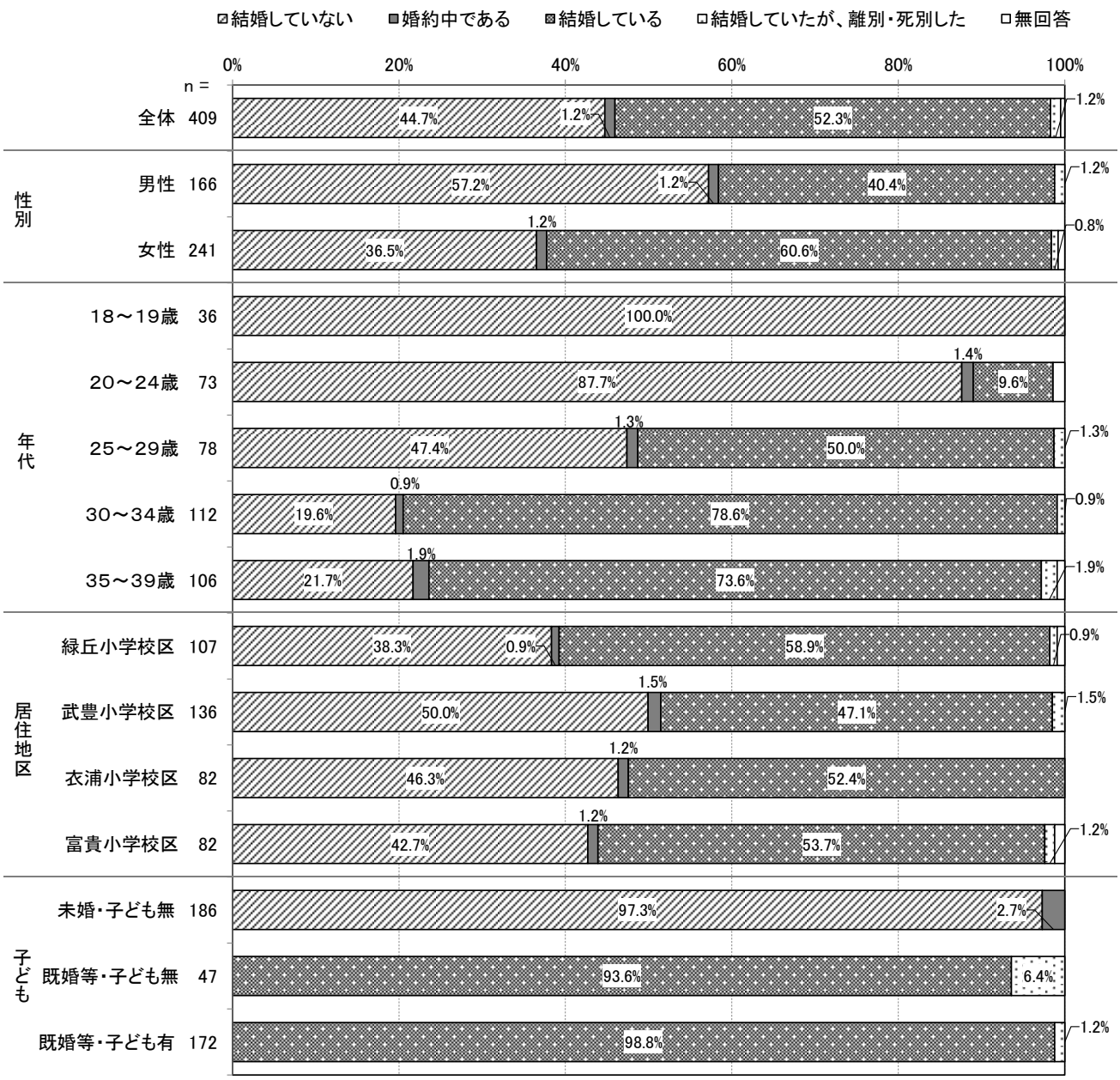
図表 3-6-1　婚姻について（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に「婚姻について」をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「結婚していない」は男性が 57.2%、女性が 36.5%です。男性の方が 20.7 ポイント高くなっています。<br>○「結婚している」は女性が 60.6%、男性が 40.4%です。女性の方が 20.2 ポイント高くなっています。 |
| 年代 | ○年齢が高くなるにつれて、「結婚していない」の割合は低くなり、「結婚している」の割合が高くなっています。「結婚している」は 30～34 歳で 78.6%、35～39 歳では 73.6%です。30 歳代でみると、おおむね４人に３人が結婚しています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では「結婚している」が 58.9%で、他の地区より高くなっています。<br>○武豊小学校区では「結婚してない」が 50.0%で、他の地区よりも高くなっています。 |

## 図表 3-6-2　属性別、婚姻について

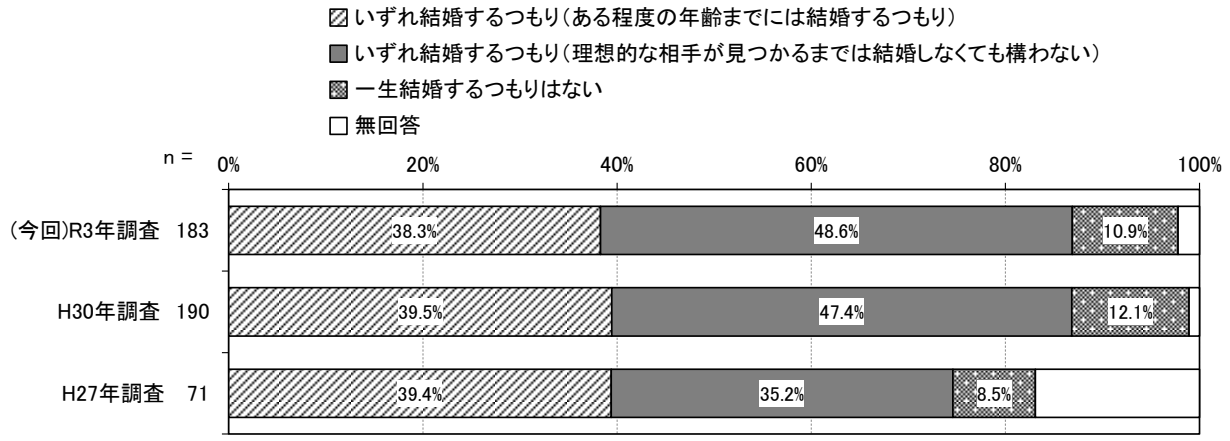


## （2）結婚についての考え方

問 21　あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。（1 つに○印）

前問で「結婚してない」と回答した 183 名の結婚感については、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が 38.3%、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない）」が 48.6%、「一生結婚するつもりはない」が 10.9%となっています。平成 30 年調査と比べても、大きな差異はみられません。

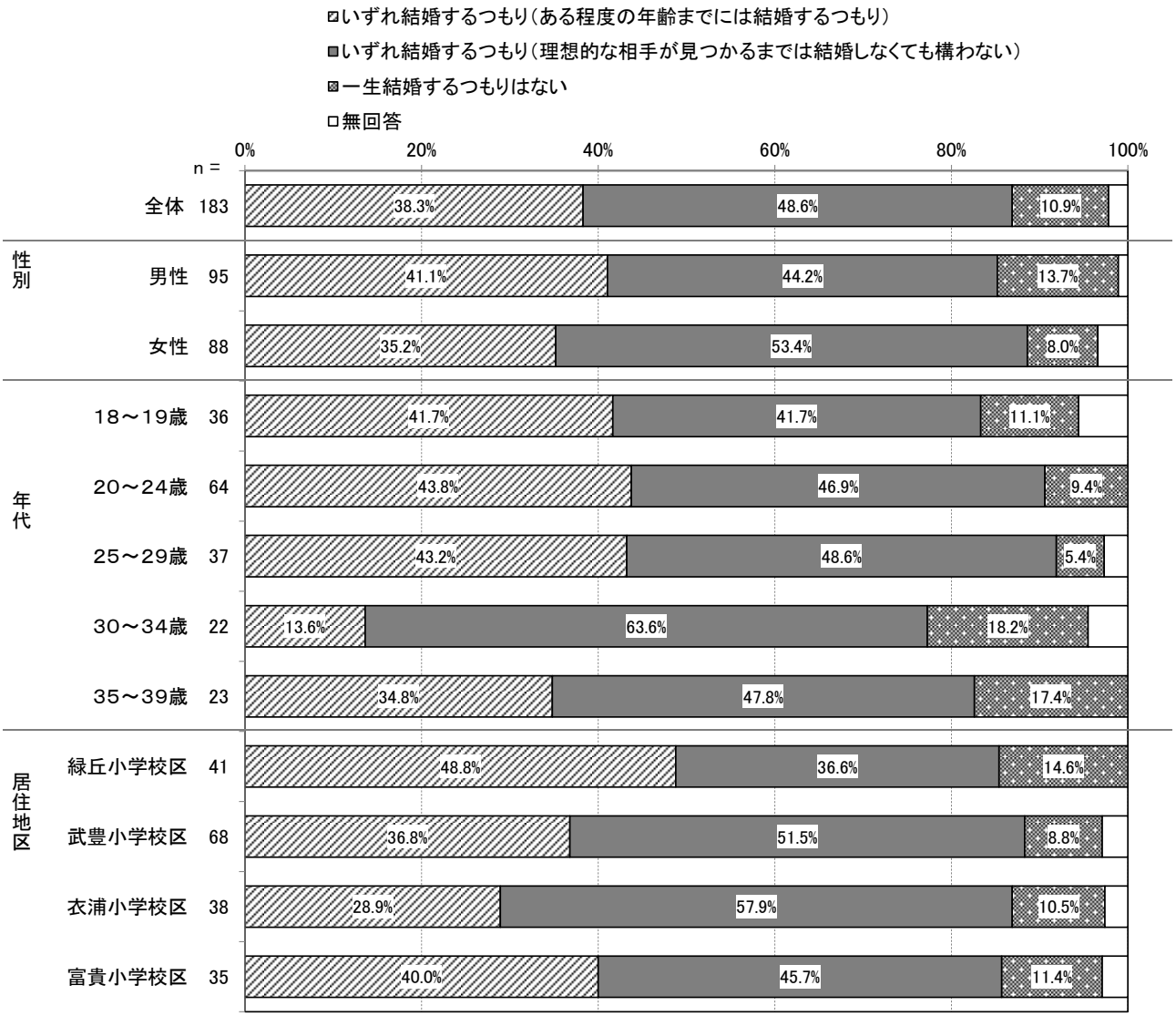
図表 3-6-3　結婚についての考え方（過去調査との比較）




以下、回答者の属性別に、結婚についての考え方をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」は、男性が 41.1%、女性が 35.2%で、男性の方が 5.9 ポイント高くなっています。<br>○「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない）」は男性が 44.2%、女性が 53.4%で、女性の方が 9.2 ポイント高くなっています。<br>○「一生結婚するつもりはない」は男性の方が高くなっています。 |
| 年代 | ○20～24 歳、25～29 歳では、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない）」ともに同様の割合を示しています。<br>○30～34 歳では、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」は 13.6%と少数となり、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない）」は 63.6%と大きな割合を占めています。<br>○35～39 歳になると、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が 34.8%となり、「30～34 歳」よりも高くなっています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では、「いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり）」が 48.8%で他の地区に比べて高くなっています。<br>○衣浦小学校区では、「いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない）」が 57.9%で他の地区に比べて高くなっています。 |

## 図表 3-6-4　属性別、結婚についての考え方



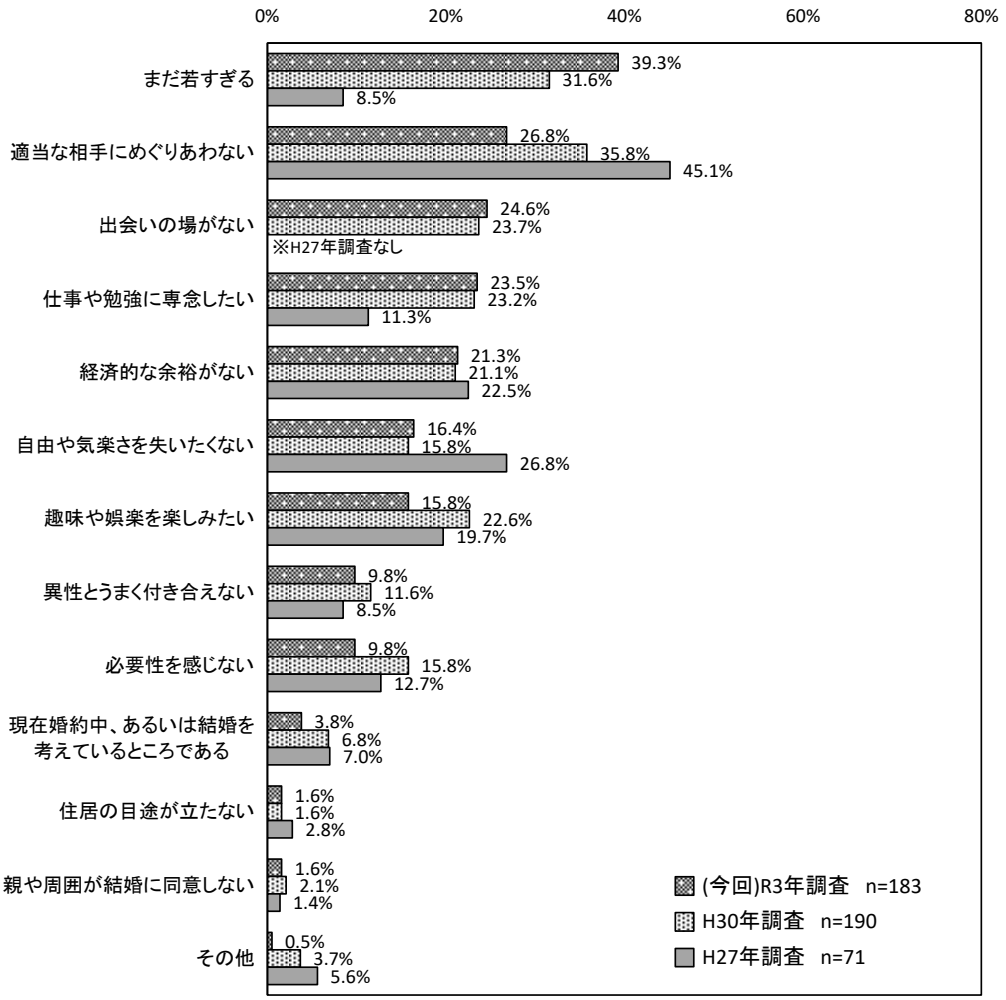
## （3）結婚していない理由

問 22　あなたは、どのような理由で結婚していませんか。（３つまでに○印）

前問で「結婚してない」と回答した 183 名の結婚していない理由については、「まだ若すぎる」が 39.3%で最も高くなっています。次いで、「適当な相手にめぐりあわない」が 26.8%、「出会いの場がない」が 24.6%、「仕事や勉強に専念したい」が 23.5%、「経済的な余裕がない」が 21.3%、「自由や気楽さを失いたくない」が 16.4%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が 15.8%となっています。

平成 30 年調査と比較したとき、「まだ若すぎる」は 7.7 ポイント上昇しています。一方、「適当な相手にめぐりあわない」は 9.0 ポイント、「趣味や娯楽を楽しみたい」は 6.8 ポイント、「必要性を感じない」は 6.0 ポイントの低下となっています。

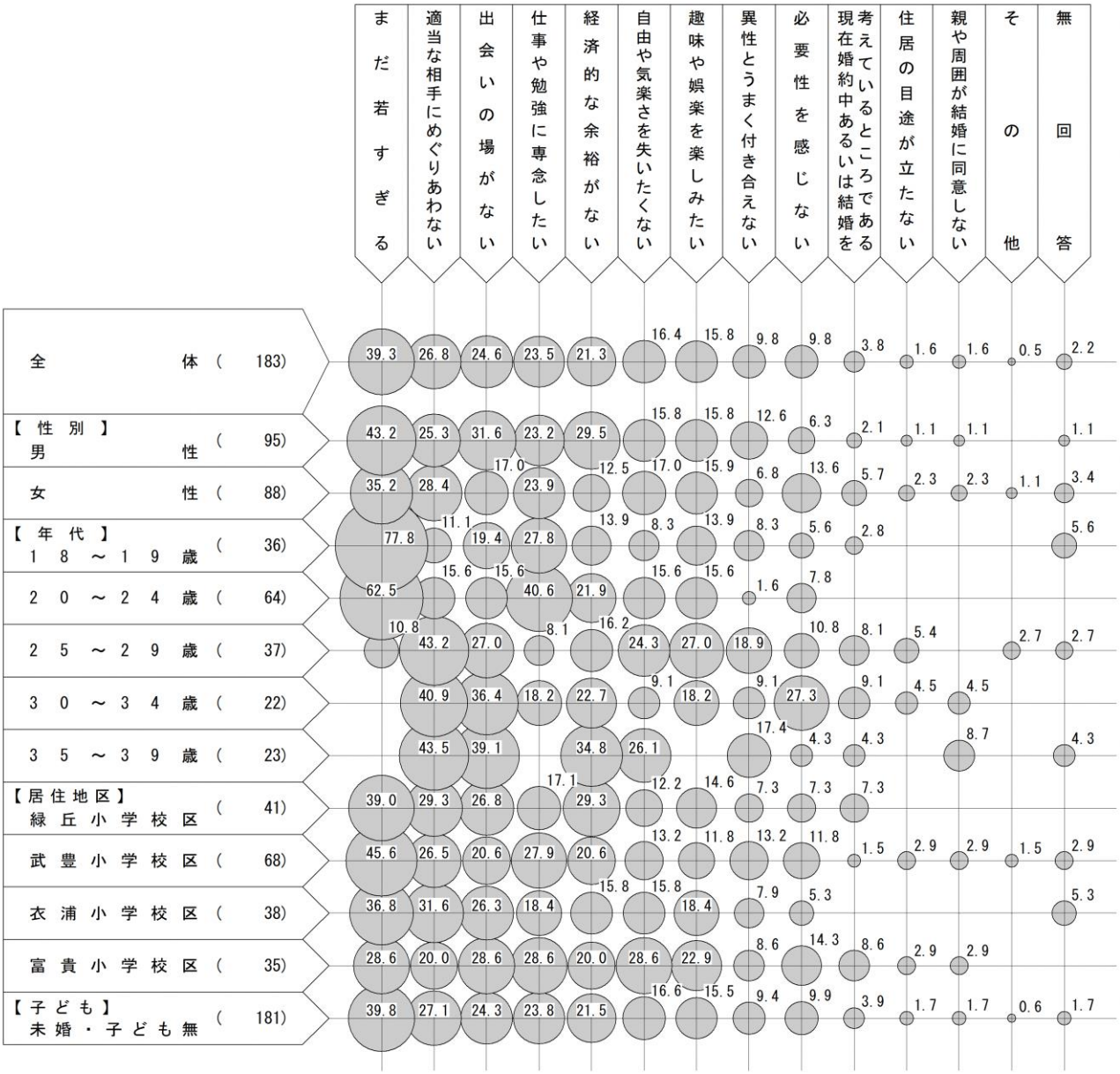
図表 3-6-5　結婚していない理由（過去調査との比較）　-複数回答（３つまで）-



以下、回答者の属性別に、結婚していない理由をみていきます。

| | |
|---|---|
| 性別 | ○「まだ若すぎる」を除くと、男性では、「出会いの場がない」の 31.6%、「経済的な余裕がない」の 29.5%が高くなっており、これらは女性よりも男性の方が高くなっています。<br>○同様に、「まだ若すぎる」を除くと、女性では、「適当な相手にめぐりあわない」の 28.4%、「仕事や勉強に専念したい」の 23.9%が高くなっており、これらは男性よりも高くなっています。<br>○結婚しない理由については、男女間でやや考えに違いがみられます。 |
| 年代 | ○18～19 歳、20～24 歳では、「まだ若すぎる」が主な理由となっています。<br>○25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では、「適当な相手にめぐりあわない」が主たる理由となっています。また 34～39 歳になると、「出会いの場がない」や「経済的な余裕がない」も他の年代と比べて高くなっています。 |
| 居住地区 | ○緑丘小学校区では「経済的な余裕がない」が 29.3%で、他と比べやや高くなっています。 |

図表 3-6-6　属性別、結婚していない理由　-複数回答（３つまで）-



## ３－７　自由意見

### （１）魅力あるまちづくりに向けた意見・提案

問 23　住まい、結婚、子育てについて、魅力あるまちづくりに向けたご意見・ご提案などございましたら、自由に記述してください。

魅力あるまちづくりに向けて、「住まい」、「結婚」、「子育て」などについてのご意見・ご提案が寄せられました。

図表 3-7-1　まちづくりに向けた意見・提案

| 区分 | 件数 |
|---|---|
| 住まい | 80 件 |
| 結婚 | 5 件 |
| 子育て | 70 件 |
| その他 | 12 件 |
| 計 | 167 件 |